



Dell™ Wireless 1515 Wireless-N 対応 WLAN カード ユーザーズ ガイド

- [はじめに](#)
 - [Microsoft® Windows® XP で WZC を使用した基本ネットワークへの接続とアドホック通信ネットワークの作成](#)
 - [Microsoft® Windows® XP で WZC を使用した高度なネットワークへの接続](#)
 - [Microsoft® Windows® Vista で WZC を使用した高度なネットワークへの接続](#)
 - [詳細プロパティの設定](#)
 - [仕様](#)
 - [規制](#)
 - [トラブルシューティング](#)
 - [用語集](#)
-

注、警告、注意

 **注:** 「注」は、コンピュータを使用するときに役立つ重要情報を示します。

 **警告:** 「警告」には、ハードウェア損傷やデータ損失の可能性と、その回避方法が示されています。

 **注意:** 「注意」は、物的損害、人身傷害、または死亡につながる可能性を示します。

このドキュメントに記載する情報は予告なく変更される可能性があります。

© 2008 Dell Inc. All rights reserved.

Dell の書面による許可がない限り、いかなる方法であっても、このドキュメントに記載する資料をコピーまたは複製することは固く禁じられています。

Dell および Dell ロゴは Dell Inc. の商標です。Microsoft、Windows、Windows Vista、Windows Server、Internet Explorer は米国または各国における Microsoft Corporation の商標あるいは登録商標です。

Wi-Fi、Wi-Fi Protected Access、Wi-Fi CERTIFIED、WPA、WPA2、および WMM は Wi-Fi Alliance の商標です。

PCI Express および ExpressCard は PCI-SIG の商標です。

このドキュメントに記載されているその他の商標または商号は、それらの商標および商号を主張する法人またはその製品に言及することを目的に使用されています。Dell は、自社以外の商標および商号の所有権を放棄します。

改訂番号 1.0: 2008 年 4 月

はじめに: Dell™ ワイヤレス WLAN カード ユーザーズ ガイド

- [ワイヤレス ネットワーキングに精通していないユーザー向けの重要情報](#)
- [ワイヤレス ネットワーキングの概要](#)
- [WLAN アダプタ機能](#)
- [作業の前に](#)

Dell ワイヤレス WLAN カードがコンピュータに同梱されたものでない場合は、カードの装着およびドライバ ソフトウェアのインストール手順について、Dell ワイヤレス WLAN カードに付属のプレスマットを参照してください。

ワイヤレス ネットワーキングに精通していないユーザー向けの重要情報

ワイヤレス ネットワークとは

ワイヤレス ネットワークとは、ワイヤレス ネットワーク アダプタを装備したコンピュータ (ワイヤレス クライアントともいう) を既存の有線ネットワークに接続するワイヤレス ローカル エリア ネットワーク (WLAN) のことです。

ワイヤレス ネットワークでは、アクセス ポイント (AP) またはワイヤレス ルーターと呼ばれる無線通信デバイスを使用して有線ネットワークとワイヤレス ネットワークをブリッジします。

ワイヤレス クライアントは、ワイヤレス ルーター/AP の有効範囲内にある場合、有線ネットワークとインターネットに接続できます。このコンパクトで軽量のワイヤレス ルーター/AP は、ワイヤレス クライアントとは付属アンテナを通じて、そして有線ネットワーク上の有線クライアントとはケーブルを通じて通信します。

ワイヤレス ネットワークの設定に必要なもの

ワイヤレス ネットワークを設定するには、次のものがが必要です。

- 高速 (ブロードバンド) インターネット接続対応のケーブルまたは DSL モデム。
- ワイヤレス ルーター。
- ネットワークにワイヤレス接続するコンピュータごとのワイヤレス ネットワーク アダプタ (Dell ワイヤレス WLAN カードなど)。

ネットワーク ケーブルの一方をブロードバンド モデルに差し込み、もう一方をワイヤレス ルーターのインターネット ポートかワイド エリア ネットワーク (WAN) ポートに差し込みます。



図 1 - ワイヤレス ネットワーク

- ① インターネット
- ② ブロードバンド モデム

- ③ ワイヤレス ルーター
- ④ ワイヤレス対応デスクトップ
- ⑤ ワイヤレス対応ラップトップ

SSID とは

サービス セット識別子 (SSID) は具体的なワイヤレス ネットワークの名前です。このワイヤレス ネットワーク名 (SSID) はワイヤレス ルーター/AP で設定されます。ワイヤレス ルーター/AP は、割り当てられた SSID をブロードキャストするか、ブロードキャストしないように設定できます。SSID をブロードキャストするようにワイヤレス ルーター/AP を設定すると、ワイヤレス ネットワークは「ブロードキャスト ネットワーク」となります。SSID をブロードキャストしないようにワイヤレス ルーター/AP を設定すると、ワイヤレス ネットワークは「非ブロードキャスト ネットワーク」となります。

ブロードキャスト ネットワーク — ブロードキャスト ネットワークで使用するワイヤレス ルーター/AP の有効範囲内にある、ワイヤレス アダプタが装備されたコンピュータは、そのネットワーク SSID の検出と表示を両方行うことができます。この機能は、接続可能なワイヤレス ネットワークの検索に便利です。

非ブロードキャスト ネットワーク — 非ブロードキャスト ネットワークで使用するワイヤレス ルーター/AP の有効範囲内にある、ワイヤレス アダプタが装着されたコンピュータは、そのネットワーク SSID を検出できますが、表示はできません。非ブロードキャスト ネットワークに接続するには、そのネットワークの SSID を知っておく必要があります。

プロファイルとは

プロファイルとは、ワイヤレス ネットワークへの接続に使用される保存設定値のグループです。この設定値にはネットワーク名 (SSID) とセキュリティ設定が含まれています。ワイヤレス ネットワークに接続するには、そのネットワークのプロファイルを作成する必要があります。作成したプロファイルは、ワイヤレス ネットワークへの接続の際に自動的に保存されます。これらのワイヤレス設定は保存されるので、ネットワーク上のワイヤレス ルーター/AP の有効範囲内に配置された Dell ラップトップの電源を入れると、ネットワークに自動的に接続できます。

安全なネットワークとオープン ネットワークの違い、およびその接続方法

ワイヤレス ネットワークの所有者または管理者は、ネットワーク キーやパスワードの指定を要求することで、ネットワークに接続するユーザーを制御できます。このような制御方法では、さまざまなレベルのワイヤレス ネットワーク セキュリティを指定できます。このような制御が可能なワイヤレス ネットワークを、「安全なネットワーク」といいます。したがって、接続しようとするワイヤレス ネットワークが安全なネットワークである場合は、ネットワーク所有者または管理者からネットワーク キーやパスワードを入手する必要があります。ネットワーク キーやパスワードの使用が要求されないワイヤレス ネットワークを、「オープン ネットワーク」といいます。これらのネットワークへの接続手順については、「[Microsoft® Windows® XP で WZC を使用した基本ネットワークへの接続、またはアドホック通信ネットワークの作成](#)」、「[Windows Vista® 上の高度なネットワークへの接続](#)」を参照してください。

Dell ワイヤレス WLAN カードの無線のオンとオフの切り替え方法

Dell ワイヤレス WLAN カードの無線をオフにすると、コンピュータのバッテリーを節約できます。また、無線通信が許可されていない航空機やその他の場所で無線をオフにする要件にも対応できます。無線をオンにすると、ワイヤレス ネットワークに接続できるようになります。

無線のオンとオフを切り替えるには、ソフトウェア ツールまたはハードウェアのスイッチを使用するか、キーボードのキーを組み合わせるで押しします。無線がオフになっている場合、ワイヤレス ネットワークに接続するには、オンにする必要があります。ワイヤレス ネットワークへの接続に問題がある場合は、無線の状態を確認してください。

ハードウェアのスイッチは、Dell ラップトップの特定の機種にのみ付いています。筐体の側面にスライド スイッチが付いている機種の場合、無線をオンにするにはスイッチを前方に、オフにするには後方にスライドします。スイッチをスライドするたびに画面で無線のオンおよびオフ状態を示すメッセージを確認してください。

筐体の側面にスライド スイッチがないラップトップの場合は、<Fn> キーと <F2> キーを同時に押ししてください。<Fn> キーと <F2> キーを押すたびに画面で無線のオン/オフ状態を示すメッセージを確認してください。


ワイヤレス ネットワーキングの概要

Dell ワイヤレス WLAN カードをコンピュータに装着すると、[ワイヤレス ルーター/AP](#) 経由でネットワークやインターネットに接続し、インターネット接続を共有したり、同じ[アドホック通信ネットワーク](#)上の他のコンピュータとファイル共有し、ワイヤレス プリンタに出力したりすることもできます。Dell [WLAN](#) ソリューションは家庭用およびビジネス用に設計されているので、自宅、オフィス、出張の際にもこれらすべての機能にワイヤレスでアクセスできます。

このユーザー ガイドに記載された手順は、Windows XP Service Pack 2、Windows XP Media Center、および Windows Vista を実行し

ているコンピュータに装着された Dell ワイヤレス WLAN カードを使用するためのものです。

Windows XP ユーザーは、[Windows ワイヤレス ゼロ コンフィギュレーション サービス](#)を使用して基本ネットワークや高度なネットワークに接続したり、アドホック通信ネットワークを作成したりできます。

 注: ワイヤレス ネットワークの管理には、デフォルトのツールである [Windows ワイヤレス ゼロ コンフィギュレーション サービス](#)を使用してください。

ワイヤレス ネットワークの種類

ワイヤレス ネットワークの種類には、"インフラストラクチャ ネットワーク" と "アドホック通信ネットワーク" の 2 つがあります。インフラストラクチャ ネットワークは "アクセス ポイント (AP) ネットワーク" と呼ばれ、アドホック通信ネットワークは "ピアツーピア ネットワーク" または "コンピュータツーコンピュータ ネットワーク" と呼ばれます。インフラストラクチャ ネットワークは、家庭および企業環境で広く使用されているネットワークです。


インフラストラクチャ ネットワーク

インフラストラクチャ ネットワークは、1 台以上の[ワイヤレス ルーター/AP](#) と 1 台の[ワイヤレス クライアント](#)が配置されたネットワークです。ワイヤレス クライアントは、ワイヤレス ルーター/AP を使用して従来の有線ネットワークにアクセスします。この有線ネットワークは、ワイヤレス AP の配置に応じて、組織イントラネットまたはインターネットのいずれかになります。この機能によって、インフラストラクチャ ネットワークのコンピュータは、インターネット アクセス、電子メール、ファイル共有、プリンタ共有など、有線 LAN のリソースおよびツールにアクセスできるようになります。

このユーザー ガイドでは便宜上、インフラストラクチャ ネットワークを、"基本ネットワーク" または "高度なネットワーク" のいずれかに分類します。

基本インフラストラクチャ ネットワークは、次のいずれかのセキュリティ設定を持つネットワークです。

- [WPA-Personal \(PSK\) 認証](#)
- [WEP](#) オープン認証または共有認証
- なし

 注: WPA-Personal (PSK) では、AP で利用可能なセキュリティ プロトコルに応じて WPA-PSK 認証または WPA2-PSK 認証が使用されます。

高度なインフラストラクチャ ネットワークは通常、企業環境でのみ使用され、何らかの形で [EAP](#) (802.1X と同じ) 認証を使用しているネットワークです。

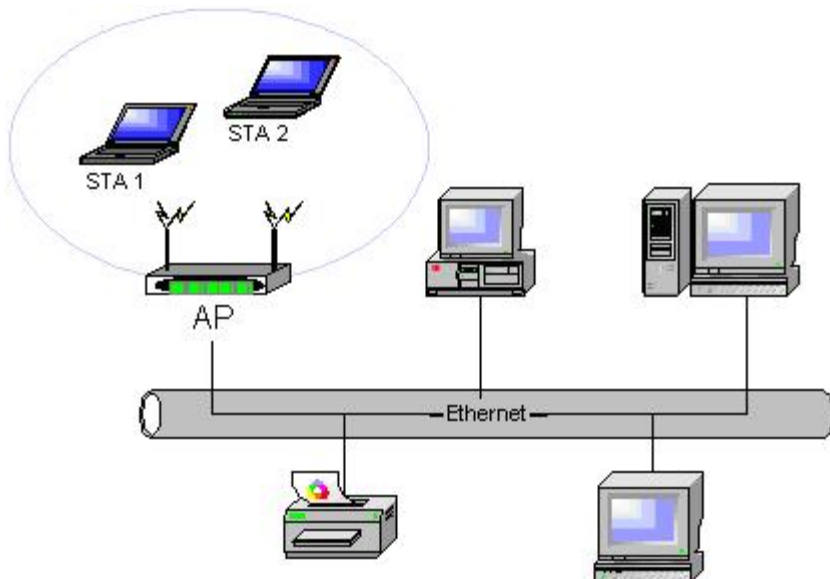


図 2 - インフラストラクチャ ネットワーク

アドホック通信ネットワーク

アドホック通信ネットワークでは、[ワイヤレスクライアント](#) は、[ワイヤレスルーター/AP](#) を使用せずに直接互いに通信できます。このネットワークでは、他のコンピュータとファイルを共有したり、共有プリンタに出力したり、共有モデムを介してインターネットに接続したりできます。アドホック通信ネットワークでは、ネットワークに接続された各コンピュータは、同じネットワーク上にあり、有効範囲内にある他のコンピュータのみと通信できます。アドホック通信ネットワークに接続するには、アドホックモードのプロファイルを設定します。アドホック通信は、規制要件に適合したハードウェアによって制限される場合があります。

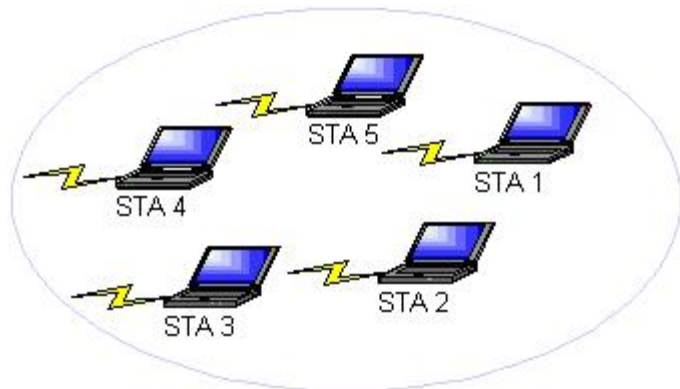


図 3 - アドホック通信ネットワーク

ブロードキャスト AP と非ブロードキャスト AP

ブロードキャスト AP はそのネットワーク名 (SSID) を送信します。非ブロードキャスト AP は SSID を送信しません。企業環境のほとんどの AP は非ブロードキャスト AP であり、ホーム オフィス/小規模オフィス環境で使用されているワイヤレス ルーターは非ブロードキャストとして設定できます。接続するネットワークがブロードキャスト ネットワークか非ブロードキャスト ネットワークかを確認してください。

WLAN アダプタ機能

Dell ワイヤレス WLAN カードには次の機能があります。

- IEEE 802.11a 通信 (5 GHz 周波数帯域)
- IEEE 802.11g 通信 (2.4 GHz 周波数帯域)
- IEEE 802.11n 通信 (2.4 GHz 周波数帯域および 5 GHz 周波数帯域)
- 最大ネットワーク データ転送速度 (20 MHz チャンネルの場合は 130 Mbps、40 MHz チャンネルの場合は 300 Mbps)
- [Unscheduled Automatic Power Save Delivery](#) のサポート



注: 一部の Dell ワイヤレス WLAN カード モデルでは、IEEE 802.11a (5-GHz) 通信または IEEE 802.11n 通信はサポートされていません。

Dell ワイヤレス WLAN カードは、IEEE 802.11 Wi-Fi CERTIFIED™ ワイヤレス ルーター/AP またはワイヤレス クライアント ネットワーク アダプタとともに使用できます。

作業の前に

次の事項の詳細については、「[無線認証](#)」を参照してください。

- 国/地域別の使用制限
- ネットワーク パフォーマンスを最適化し、送信パワーに関する地域条例に準拠するための設定

エンタープライズ ユーザー

ネットワーク管理者から次の情報を入手してください。

- 接続するワイヤレス ネットワークのネットワーク名 (SSID)

- AP がブロードキャスト AP か非ブロードキャスト AP か
- ネットワーク セキュリティ設定
- ネットワーク アカウントで使用するドメイン名、ユーザー名、およびパスワード
- IP アドレスとサブネット マスク (DHCP サーバーを使用しない場合)
- 認証サーバーに接続されたネットワーク (必要な場合)

小規模オフィス/ホーム オフィス ユーザー

WLAN カードと通信する AP には、あらかじめネットワーク名 ([SSID](#)) が割り当てられています。AP インストーラから SSID およびネットワーク セキュリティ設定を入手し、AP がブロードキャスト AP か非ブロードキャスト AP かを確認してください。

[コンテンツ ページに戻る](#)

仕様: Dell™ ワイヤレス WLAN カード ユーザーズ ガイド

- [物理的特性](#)
- [温度および湿度制限](#)
- [電力特性](#)
- [ネットワーク特性](#)
- [無線特性](#)

物理的特性

特性	説明
形状ファクタ	ハーフ ミニカード: PCI Express ミニ カード仕様、2003 年 6 月 PCI Express® Mini Card Electromechanical Specification、改訂番号 1.2、2007 年 10 月 26 日

温度および湿度制限

条件	説明
動作温度	0 ~ 85°C
動作湿度	最高 95% (結露しないこと)
保管温度	-60 ~ +150°C
保管湿度	最高 95% (結露しないこと)


電力特性

電流値の測定間隔は 1 秒以上です。最大送信値および受信値は、連続 UDP データ ストリーム送信中に最大速度設定 270 Mビット/秒で測定しました。

特性	値
電流、省電力モード	L0 電力 ~65 mA L1 電力 ~12 mA
電流、受信モード	450 mA (最大)
電流、送信モード	750 mA (最大)
電源	3.3 V

ネットワーク特性

特性	説明
互換性	<ul style="list-style-type: none">● ワイヤレス LAN の IEEE 802.11g 規格 (OFDM)● ワイヤレス LAN の IEEE 802.11b 規格 (DSSS)● ワイヤレス LAN の IEEE 802.11a 規格 (OFDM)● ワイヤレス LAN の IEEE 802.11n 規格 (OFDM)

ネットワーク オペレーティング システム	Microsoft Windows Networking
ホスト オペレーティング システム	<ul style="list-style-type: none"> • Microsoft Windows XP • Microsoft Windows Vista NDIS5 ミニポート ドライバ、NDIS6 ミニポート ドライバ
メディア アクセス プロトコル	CSMA/CA方式 (衝突回避機能付き、確認応答 (ACK) を実施)
データ速度 (Mbps)	<ul style="list-style-type: none"> • IEEE 802.11b: 1, 2, 5.5, 11 • IEEE 802.11g: 1, 2, 5.5, 6, 9, 11, 12, 18, 24, 36, 48, 54 • IEEE 802.11a: 6, 9, 12, 18, 24, 36, 48, 54 • IEEE 802.11n、20 MHz 帯域幅: 130, 117, 104, 78, 52, 39, 26, 13 • IEEE 802.11n、40 MHz 帯域幅: 270, 243, 216, 162, 108, 81, 54, 27
 注: Dell ワイヤレス WLAN カード では、自動送信レート選択メカニズムを使用しています。	

無線特性



注:

- 国/地域別のパフォーマンス特性と使用制限については、「[規制](#)」を参照してください。
- 次の表に、IEEE 802.11n 通信の送信ストリームあたりの出力レベルを記載します。

特性	説明
周波数帯域幅	IEEE 802.11b: 2.4 GHz (2400 ~ 2500 MHz) IEEE 802.11g: 2.4 GHz (2400 ~ 2500 MHz) IEEE 802.11a: 5 GHz (4900 ~ 5850 MHz) IEEE 802.11n: 2.4 GHz および 5 GHz
変調テクニック	IEEE 802.11b: 直接拡散方式 (DSSS) <ul style="list-style-type: none"> • CCK (高速度および中速度) • DQPSK (標準速度) • DBPSK (低速度) IEEE 802.11g: 直交周波数分割多重方式 (OFDM) <ul style="list-style-type: none"> • 副搬送波数 52、変調形式 BPSK、QPSK、16-QAM、または 64-QAM • 前方誤り訂正畳み込みコーディング レート: 1/2、2/3、3/4 IEEE 802.11a: 直交周波数分割多重方式 (OFDM) <ul style="list-style-type: none"> • 副搬送波数 52、変調形式 BPSK、QPSK、16-QAM、または 64-QAM • 前方誤り訂正畳み込みコーディング レート: 1/2、2/3、3/4 IEEE 802.11n: 直交周波数分割多重方式 (OFDM)
拡散方式	IEEE 802.11b: 11-chip Barker sequence
ビット エラー率 (BER)	10 ⁻⁵ 以上
定格出力	IEEE 802.11b: 19 dBm IEEE 802.11g: 15 dBm IEEE 802.11a: 15 dBm IEEE 802.11n (2.4 GHz): 17 dBm IEEE 802.11n (5 GHz): 14 dBm

[コンテンツ ページに戻る](#)

Microsoft® Windows® WZC を使用した基本ネットワークへの接続とアドホック通信ネットワークの作成: Dell™ ワイヤレス WLAN カード ユーザーズ ガイド

- [概要](#)
- [基本ネットワークへの接続](#)
- [アドホック通信ネットワークの作成](#)
- [アクセスするネットワークの種類の選択](#)

概要

Windows ワイヤレス ゼロ コンフィギュレーション (WZC) サービスは、基本ネットワークに接続したりアドホック通信ネットワークを作成したりするための Windows XP 固有のツールです。

このユーザー ガイドでは便宜上、基本ワイヤレス ネットワークを次のように定義しています。

□□□ 次のセキュリティ設定のいずれかを持つ [インフラストラクチャ ネットワーク](#)。

- [WPA-Personal \(PSK\) 認証](#)
- [WEP](#) (オープン認証または共有認証)
- なし (認証なし)

□□□ WEP セキュリティが設定されている、または、セキュリティがまったく設定されていない [アドホック通信](#) ネットワーク。

高度なネットワークとは、なんらかの形で [EAP](#) 認証を使用しているインフラストラクチャ ネットワークです。高度なインフラストラクチャ ネットワークに接続する方法については、「[Windows WZC を使用した高度なネットワークへの接続](#)」を参照してください。

ネットワークに接続したりアドホック通信ネットワークを作成したりするには、最初にネットワーク接続プロファイルを作成する必要があります。このプロファイルには、ネットワーク名と、ネットワークで必要なネットワーク セキュリティ設定が含まれています。

インフラストラクチャ ネットワークの接続プロファイルを作成すると、[\[優先するネットワーク\]](#) 一覧の最上部にプロファイルが追加され、そのプロファイルを使用してネットワークへの接続が自動的に試行されます。ネットワークが有効範囲内の場合、接続が確立されます。ネットワークが有効範囲を外れている場合、一覧の最上部にプロファイルが追加されますが、コンピュータは、有効範囲内にあるネットワークが一覧内で見つかるまで、一覧内の次のプロファイルを使用して接続を試行します。その後、ネットワーク アクセスの設定を変更することで、一覧に表示するプロファイルの種類を指定できます (「[アクセスするネットワークの種類の選択](#)」を参照)。

一覧の接続プロファイルを上下に移動すると、プロファイルを好きな順序に配列できます。デフォルトでは、インフラストラクチャ ネットワークはアドホック通信ネットワークよりも優先されます。したがって、1 つ以上のインフラストラクチャ ネットワークについて接続プロファイルを作成した場合、アドホック通信ネットワークの接続プロファイルは、インフラストラクチャ ネットワークの接続プロファイルの下部に一覧表示されます。アドホック通信ネットワークの接続プロファイルは、一覧でインフラストラクチャ ネットワークのプロファイルよりも上に移動することはできません。したがって、アドホック通信ネットワークにアクセスするには、アクセス設定を変更する必要があります。

基本ネットワークへの接続

次に進む前に、「[作業の前に](#)」の項に記載する情報を見直してください。

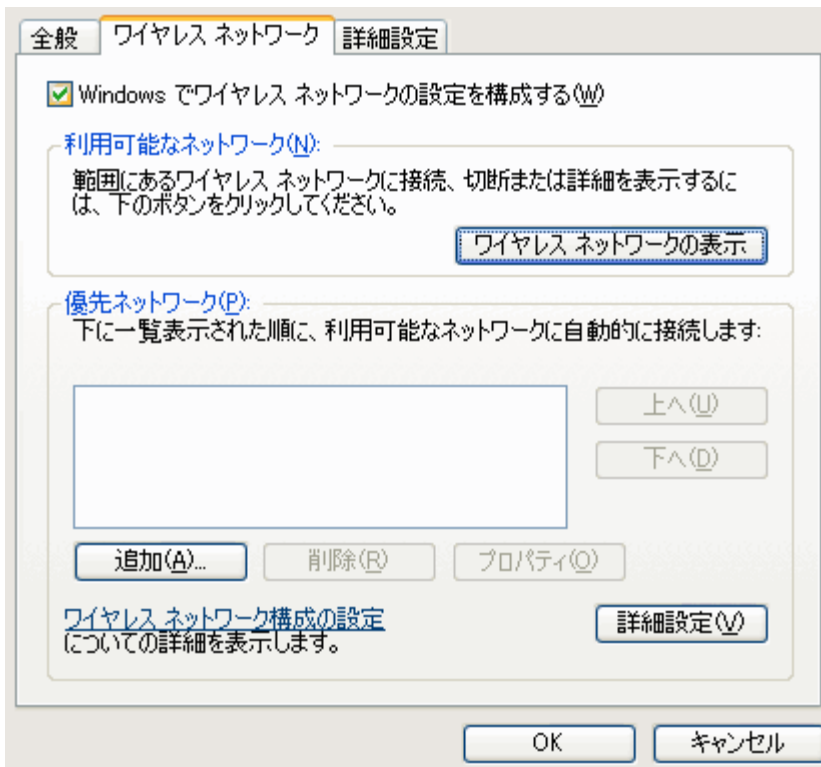
セキュリティ設定のないネットワークへの接続

□□□ [コントロール パネル] の [ネットワーク接続] をダブルクリックします。

□□□ [ネットワーク接続] ウィンドウで、[ワイヤレス ネットワーク接続] を右クリックし、[プロパティ] をクリックします。

□□□ [ワイヤレス ネットワーク] タブで、[Windows を使ってワイヤレス ネットワークの設定を構成する] チェック ボックスがオンになっていることを確認します。このチェック ボックスがオンになっていない場合はクリックしてオンにします。

□□□ [追加] をクリックします。

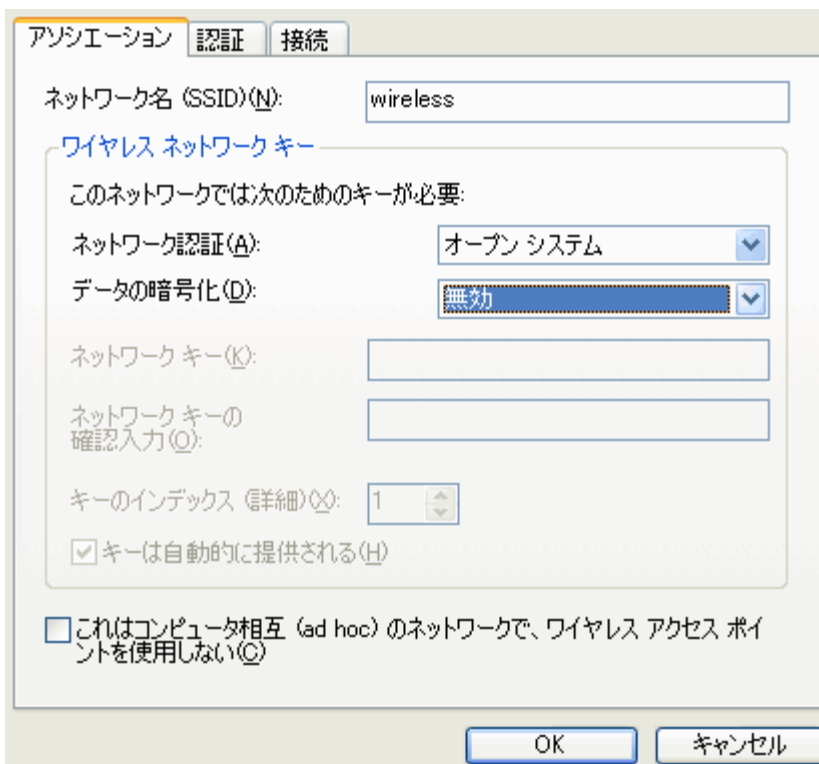


- [ネットワーク名 (SSID)] ボックスにネットワーク名を入力します。
- [ネットワーク認証] 一覧で、[オープン] をクリックします。
- [データの暗号化] 一覧で、[無効化] をクリックします。
- [OK] をクリックします。



注:

- 有効範囲にあるネットワークに自動的に接続するには、[接続] タブの [このネットワークが範囲内にあるとき接続する] チェック ボックスをオンにします。
- 作成する接続プロファイルがアドホック通信ネットワークのものである場合は、[これはコンピュータ相互 (アドホック) ネットワークです。ワイヤレス アクセス ポイントは使用されていません] チェック ボックスをオンにして、[OK] をクリックします。



□□□ [ワイヤレス ネットワーク] タブで [OK] をクリックします。

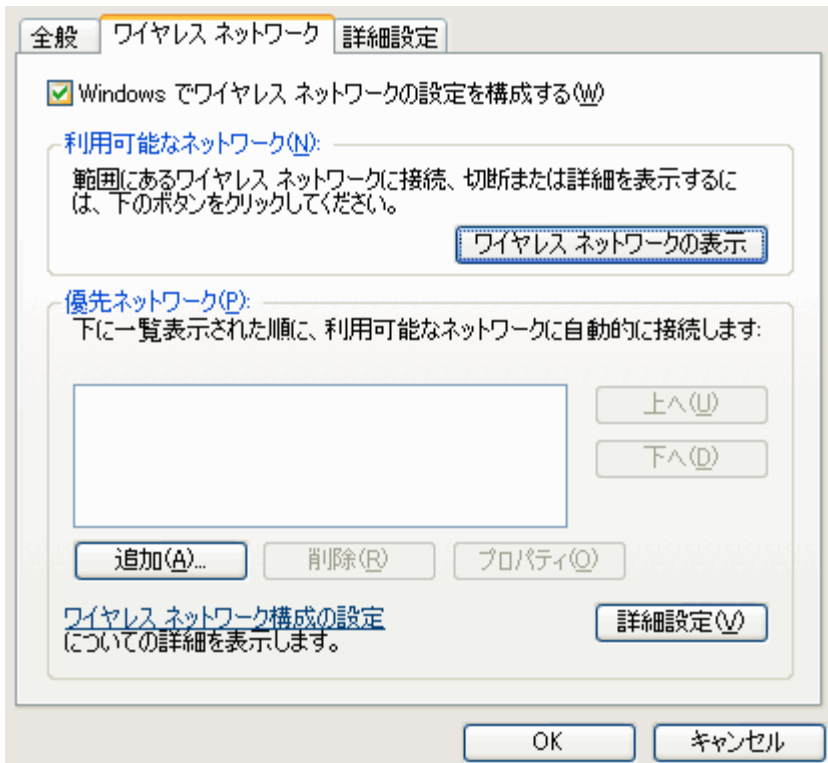
セキュリティ設定のないネットワークへの接続

□□□ [コントロール パネル] の [ネットワーク接続] をダブルクリックします。

□□□ [ネットワーク接続] ウィンドウで、[ワイヤレス ネットワーク接続] を右クリックし、[プロパティ] をクリックします。

□□□ [ワイヤレス ネットワーク] タブで、[Windows を使ってワイヤレス ネットワークの設定を構成する] チェック ボックスがオンになっているか確認します。このチェック ボックスがオンになっていない場合はクリックしてオンにします。


□□□ [追加] をクリックします。



□□□ [ネットワーク名 (SSID)] ボックスにネットワーク名を入力します。

□□□ [ネットワーク認証] 一覧で、ネットワークに応じて [オープン] または [WPA-PSK] をクリックします。


□□□ オープン認証の場合は、[データの暗号化] 一覧で [WEP] をクリックします。

 注: WEP 暗号化の場合は、ネットワーク キーを入力する前に [キーは自動的に提供される] チェック ボックスをオフにする必要があります。


または、

WPA-PSK 認証の場合は、使用ネットワークに応じて、[データの暗号化] 一覧で [TKIP] または [AES] をクリックします。

□□□ [ネットワーク キーの確認入力] ボックスの [ネットワーク キー] ボックスにネットワーク キーを入力します。

 注: WEP 暗号化の場合、ネットワーク キーは、0 ~ 9 の数字と a ~ f の文字 (大文字と小文字の区別はありません) を使用した 5 文字、13 文字、10 文字、または 26 文字のいずれかの長さにする必要があります。TKIP または AES 暗号化の場合、ネットワーク キーは、0 ~ 9 の数字および a ~ f の文字 (大文字と小文字の区別はありません) を使用した 26 文字か 64 文字の長さにする必要があります。ネットワーク キーは、[アクセス ポイント](#) またはアドホック通信ネットワークのネットワーク キーと一致する必要があります。

□□□ [OK] をクリックします。

 注: 作成するプロファイルがアドホック通信ネットワークのものである場合は、[これはコンピュータ相互 (アドホック) ネットワークです。ワイヤレス アクセス ポイントは使用されていません] チェック ボックスをオンにしてから [OK] をクリックします。

アソシエーション 認証 接続

ネットワーク名 (SSID)(N): wireless

ワイヤレス ネットワーク キー

このネットワークでは次のためのキーが必要:

ネットワーク認証(A): オープン システム

データの暗号化(D): WEP

ネットワーク キー(K): *****

ネットワーク キーの
確認入力(Q): *****

キーのインデックス (詳細)(O): 1

キーは自動的に提供される(H)

これはコンピュータ相互 (ad hoc) のネットワークで、ワイヤレス アクセシ
ポイントを使用しない(C)

OK キャンセル

□□□□ [ワイヤレス ネットワーク] タブで [OK] をクリックします。

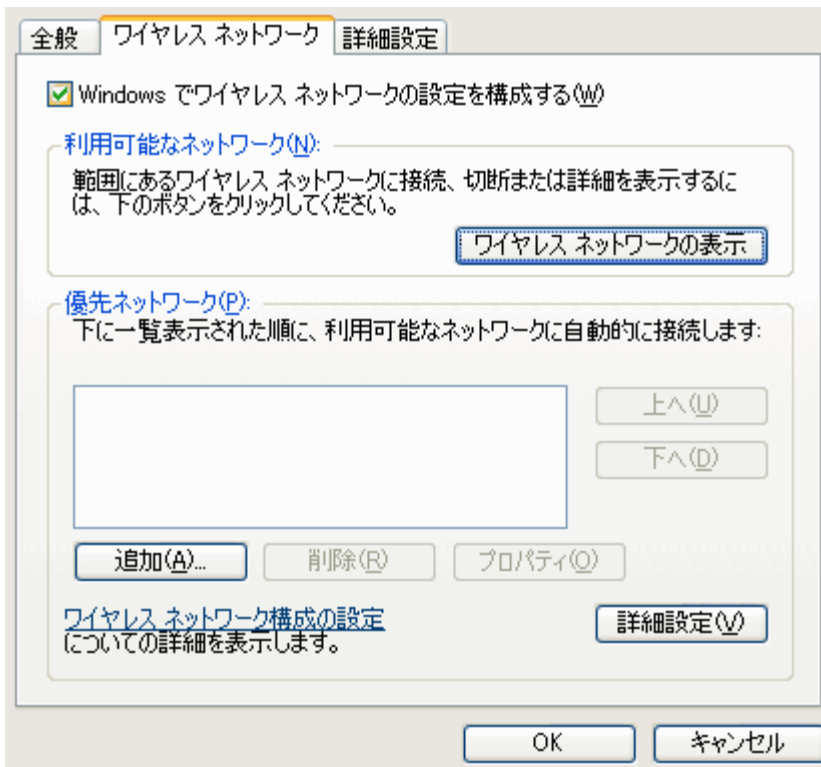
アドホック通信ネットワークの作成


□□□ [コントロール パネル] の [ネットワーク接続] を開きます。

□□□ [ネットワーク接続] ウィンドウで、[ワイヤレス ネットワーク接続] を右クリックし、[プロパティ] をクリックします。

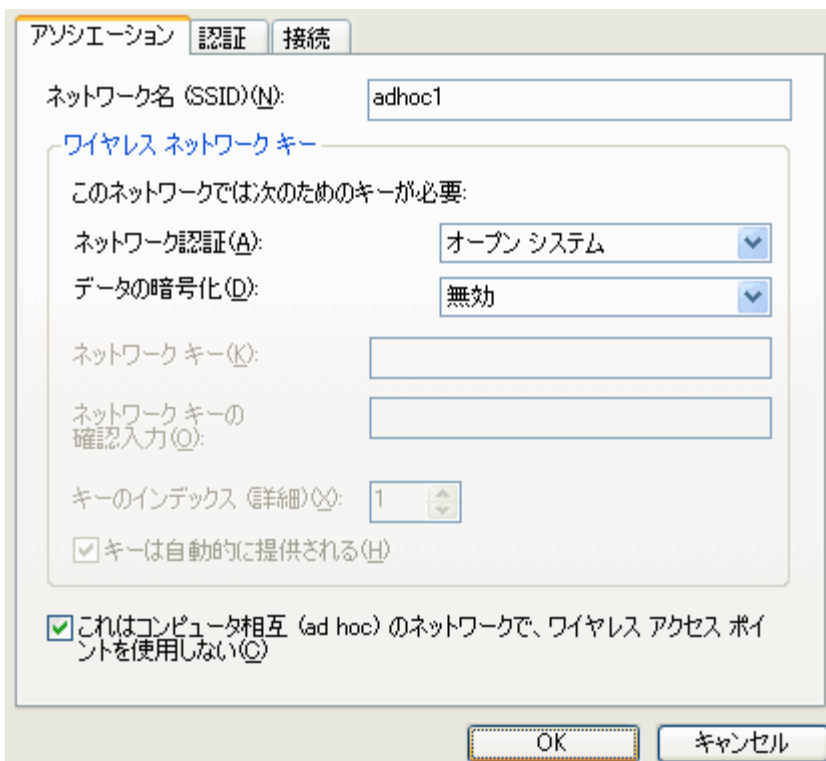
□□□ [ワイヤレス ネットワーク] タブで、[Windows を使ってワイヤレス ネットワークの設定を構成する] チェック ボックスがオンになっているか確認します。このチェック ボックスがオンになっていない場合はこれをクリックしてオンにします。

□□□ [追加] をクリックします。



- [ネットワーク名 (SSID)] ボックスにネットワーク名を入力します。
- [これはコンピュータ相互 (アドホック) ネットワークです。ワイヤレス アクセス ポイントは使用されていません] チェック ボックスをオンにします。
- [ネットワーク認証] の一覧で、[オープン] をクリックします。
- セキュリティ設定のないアドホック通信ネットワークを作成するには、[データの暗号化] 一覧をクリックし、[データの暗号化] 一覧の [無効化] をクリックします。
または
WEP 暗号化を使用したアドホック通信ネットワークを作成するには、[キーは自動的に提供される] チェック ボックスをオフにし、[データの暗号化] 一覧の [WEP] をクリックします。
- [ネットワーク キー] ボックスと [ネットワーク キーの確認入力] ボックスに、ネットワーク キーを入力します。
 注: ネットワーク キーは、0 ~ 9 の数字および a ~ f の文字 (大文字と小文字の区別はありません) を使用した 5 文字、13 文字、10 文字、または 26 文字のいずれかの長さにする必要があります。

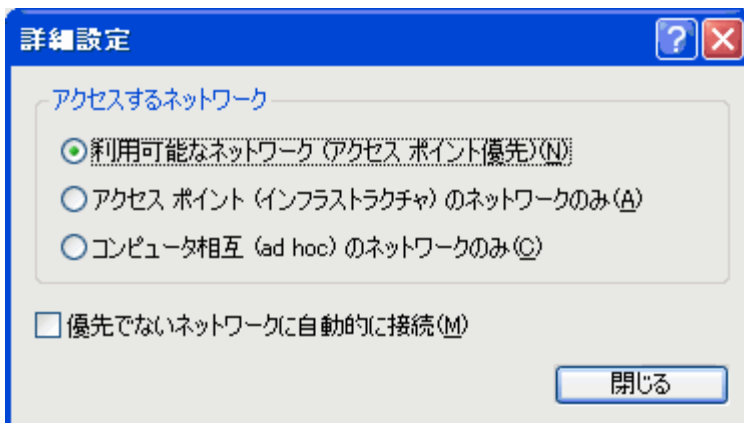
□□□□ [OK] をクリックします。



□□□ [ワイヤレス ネットワーク] タブで [OK] をクリックします。

アクセスするネットワークの種類を選択

- [コントロール パネル] の [ネットワーク接続] をダブルクリックします。
- [ネットワーク接続] ウィンドウで、[ワイヤレス ネットワーク接続] を右クリックし、[プロパティ] をクリックします。
- [ワイヤレス ネットワーク] タブで [詳細設定] をクリックします。
- [アクセスするネットワーク] で、目的のオプションをクリックして [閉じる] をクリックします。



□□□ [ワイヤレス ネットワーク] タブで [OK] をクリックします。

[コンテンツ ページに戻る](#)

Regulatory: Dell™ Wireless WLAN Card User's Guide

- [Operational Information](#)
 - [Regulatory Information](#)
-

Operational Information



NOTES:

- EIRP = effective isotropic radiated power (including antenna gain)
- Your Dell Wireless WLAN Card transmits less than 100 mW of power, but more than 10 mW.

Wireless Interoperability

The Dell Wireless WLAN Card products are designed to be interoperable with any wireless LAN product that is based on direct sequence spread spectrum (DSSS) radio technology and orthogonal frequency division multiplexing (OFDM) and to comply with the following standards:

- IEEE 802.11a Standard on 5 GHz Wireless LAN
- IEEE 802.11b-1999 Standard on 2.4 GHz Wireless LAN
- IEEE 802.11g Standard on 2.4 GHz Wireless LAN
- IEEE 802.11n Standard on 2.4 GHz and 5 GHz Wireless LAN
- Wireless Fidelity (Wi-Fi®) certification, as defined by the Wi-Fi Alliance

Safety

The Dell Wireless WLAN Card, like other radio devices, emits radio frequency electromagnetic energy. The level of energy emitted by this device, however, is less than the electromagnetic energy emitted by other wireless devices such as mobile phones. The Dell Wireless WLAN Card wireless device operates within the guidelines found in radio frequency safety standards and recommendations. These standards and recommendations reflect the consensus of the scientific community and result from deliberations of panels and committees of scientists who continually review and interpret the extensive research literature. In some situations or environments, the use of the Dell Wireless WLAN Card wireless devices may be restricted by the proprietor of the building or responsible representatives of the applicable organization. Examples of such situations include the following:

- Using the Dell Wireless WLAN Card equipment on board airplanes, or
- Using the Dell Wireless WLAN Card equipment in any other environment where the risk of interference with other devices or services is perceived or identified as being harmful.

If you are uncertain of the policy that applies to the use of wireless devices in a specific organization or environment (an airport, for example), you are encouraged to ask for authorization to use the Dell Wireless WLAN Card wireless device before you turn it on.



Warning: Explosive Device Proximity

Do not operate a portable transmitter (such as a wireless network device) near unshielded blasting caps or in an explosive environment unless the device has been modified to be qualified for such use.



Caution: Use on Aircraft

Regulations of the FCC and FAA prohibit airborne operation of radio-frequency wireless devices because their signals could interfere with critical aircraft instruments.

Regulatory Information

The Dell Wireless WLAN Card wireless network device must be installed and used in strict accordance with the manufacturer's instructions as described in the user documentation that comes with the product. Dell Inc. is not responsible for any radio or television interference caused by unauthorized modification of the devices included with this Dell Wireless WLAN Card kit, or the substitution or attachment of connecting cables and equipment other than that specified by Dell Inc. The correction of interference caused by such unauthorized modification, substitution or attachment is the responsibility of the user. Dell Inc. and its authorized resellers or distributors are not liable for any damage or violation of government regulations that may arise from the user failing to comply with these guidelines. For country-specific approvals, see [Radio approvals](#).

USA — Federal Communications Commission (FCC)

FCC Radiation Exposure Statement



Warning: The radiated output power of the Dell Wireless WLAN Card devices is far below the FCC radio frequency exposure limits. Nevertheless, the Dell Wireless WLAN Card devices should be used in such a manner that the potential for human contact during normal operation is minimized. To avoid the possibility of exceeding the FCC radio frequency exposure limits, you should keep a distance of at least 20 cm between you (or any other person in the vicinity) and the antenna that is built into the computer. To determine the location of the antenna within your portable computer, check the information posted on the general Dell support site at <http://support.dell.com/>.

This device has also been evaluated for and shown compliant with the FCC RF exposure limits under portable exposure conditions (antennas are within 20 cm of a person's body) when installed in certain specific OEM configurations. Details of the authorized configurations can be found at <http://www.fcc.gov/oet/fccid/help.html> by entering the FCC ID number on the device.

Interference Statement

These devices comply with Part 15 of the FCC Rules. Operation of the devices is subject to the following two conditions: (1) The devices may not cause harmful interference, and (2) The devices must accept any interference that may cause undesired operation.

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy. If the equipment is not installed and used in accordance with the instructions, the equipment may cause harmful interference to radio communications. There is no guarantee, however, that such interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception (which can be determined by turning the equipment off and on), the user is encouraged to try to correct the interference by taking one or more of the following measures:

- Relocate this device.
- Increase the separation between the device and the receiver.
- Connect the device into an outlet on a circuit different from that of other electronics.
- Consult the dealer or an experienced radio technician for help.



NOTE: This Dell Wireless WLAN Card must be installed and used in strict accordance with the manufacturer's instructions as described in the user documentation that comes with the product. Any other installation or use will violate FCC Part 15 regulations. Modifications not expressly approved by Dell could void your authority to operate the equipment.

This device must not be co-located or operating in conjunction with any other antenna or transmitter.

Radio Frequency Interference Requirements



警告: Dell Wireless 1550 Wireless-N 対応 WLAN Card、FCC ID# PPD-AR5BHB91

このデバイスの用途は、周波数 5.15 ～ 5.25 GHz の範囲で操作するように制限されています。FCC では、同一チャネルのモバイル衛星システムに対する有害干渉の可能性を減らすために、このような製品を、周波数 5.15 GHz ～ 5.25 GHz の範囲で屋内で使用するように規定しています。

高性能レーダーには基本的に、5.25 ～ 5.35 GHz と 5.65 ～ 5.85 GHz の帯域幅が割り当てられています。これらの帯域幅で動作するレーダー基地によって、このデバイスが干渉を受けたり、損傷したりする可能性があります。

Brazil

Brasil - Aviso da Anatel

Este equipamento opera em caráter secundário, isto é, não tem direito a proteção contra interferência prejudicial, mesmo de estações do mesmo tipo, e não pode causar interferência a sistemas operando em caráter primário.

Canada. Industry Canada (IC)

This device complies with RSS210 of Industry Canada.

This Class B digital apparatus complies with Canadian ICES-003, Issue 4, and RSS-210, No 4 (Dec 2000) and No 5 (Nov 2001). To prevent radio interference to the licensed service, this device is intended to be operated indoors and away from windows to provide maximum shielding. Equipment (or its transmit antenna) that is installed outdoors is subject to licensing.

Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause interference, and (2) this device must accept any interference, including interference that may cause undesired operation of this device.

Ce dispositif est conforme à RSS210 d'industrie Canada.

Cet appareil numérique de la classe B est conforme à la norme NMB-003, No. 4, et CNR-210, No 4 (Dec 2000) et No 5 (Nov 2001).

Pour empêcher que cet appareil cause du brouillage au service faisant l'objet d'une licence, il doit être utilisé à l'intérieur et devrait être placé loin des fenêtres afin de fournir un écran de blindage maximal. Si le matériel (ou son antenne d'émission) est installé à l'extérieur, il doit faire l'objet d'une licence.

L'utilisation de ce dispositif est autorisée seulement aux conditions suivantes: (1) il ne doit pas produire de brouillage et (2) l'utilisateur du dispositif doit être prêt à accepter tout brouillage radioélectrique reçu, même si ce brouillage est susceptible de compromettre le fonctionnement du dispositif.

The term "IC" before the equipment certification number only signifies that the Industry Canada technical specifications were met.

To reduce the potential radio interference to other users, the antenna type and gain should be chosen so that the equivalent isotropically radiated power (EIRP) is not more than that required for successful communication.

To prevent radio interference to the licensed service, this device is intended to be operated indoors and away from windows to provide maximum shielding. Equipment (or its transmit antenna) that is installed outdoors is subject to licensing.

Pour empêcher que cet appareil cause du brouillage au service faisant l'objet d'une licence, il doit être utilisé à l'intérieur et devrait être placé loin des fenêtres afin de fournir un écran de blindage maximal. Si le matériel (ou son antenne d'émission) est installé à l'extérieur, il doit faire l'objet d'une licence.

CAUTION: Exposure to Radio Frequency Radiation.



The installer of this radio equipment must ensure that the antenna is located or pointed such that it does not emit an RF field in excess of Health Canada limits for the general population; consult Safety Code 6, obtainable from Health Canada's website <http://www.hc-sc.gc.ca/rpb>.

NOTICE: Dell Wireless 1550 Wireless-N WLAN Card

This device is restricted to indoor use due to its operation in the 5.15 to 5.25 GHz frequency range. Industry Canada requires such product to be used indoors to reduce the potential for harmful interference to co-channel Mobile Satellite systems.

High-power radars are allocated as primary users of the 5.25 to 5.35 GHz and 5.65 to 5.85 GHz bands. These radar stations can cause interference with this device, or can cause damage to this device, or both.

Europe—EU Declaration of Conformity and Restrictions

This equipment is marked with either the symbol  or the symbol  and can be used throughout the European Community. This mark indicates compliance with the R&TTE Directive 1999/5/EC and the relevant parts of the following technical specifications:


EN 300 328. Electromagnetic Compatibility and Radio Spectrum Matters (ERM). Wideband transmission systems, data transmission equipment operating in the 2.4 GHz [ISM](#) band and using spread spectrum modulation techniques, harmonized EN standards covering essential requirements under article 3.2 of the R&TTE directive

EN 301 893. Broadband Radio Access Networks (BRAN). 5 GHz high-performance RLAN, harmonized EN standards covering essential requirements of article 3.2 of the R&TTE directive

EN 301 489-17. Electromagnetic Compatibility and Radio Spectrum Matters (ERM). Electromagnetic Compatibility (EMC) Standard for Radio Equipment and Services, Part 17 Specific Conditions for Wideband Data and HIPERLAN Equipment

EN 60950-1. Safety of Information Technology Equipment

EN 50385. Product standard to demonstrate the compliances of radio base stations and fixed terminal stations for wireless telecommunication systems with the basic restrictions or the reference levels related to human exposure to radio frequency electromagnetic fields

Marking by the alert symbol  indicates that usage restrictions apply.

Bulgaria	Evropská unie, prohlášení o shodě R&TTE Společnost Dell Inc. tímto prohlašuje, že toto bezdrátové zařízení Dell je v souladu se základními požadavky a dalšími příslušnými ustanoveními směrnice 1999/5/ES.
Czech	Dell Inc. tímto prohlašuje, že tento Wireless Device je ve shodě se základními požadavky a dalšími příslušnými ustanoveními směrnice 1999/5/ES.
Danish	Undertegnede Dell Inc. erklærer herved, at følgende udstyr Wireless Device overholder de væsentlige krav og øvrige relevante krav i direktiv 1999/5/EF.
Dutch	Hierbij verklaart Dell Inc. dat het toestel Wireless Device in overeenstemming is met de essentiële eisen en de andere relevante bepalingen van richtlijn 1999/5/EG.
English	Hereby, Dell Inc. declares that this Wireless Device is in compliance with the essential requirements and other relevant provisions of Directive 1999/5/EC.
Estonian	Käesolevaga kinnitab Dell Inc. seadme Wireless Device vastavust direktiivi 1999/5/EÜ põhinõuetele ja nimetatud direktiivist tulenevatele teistele asjakohastele sätetele.
Finnish	Dell Inc. vakuuttaa täten että Wireless Device tyyppinen laite on direktiivin 1999/5/EY oleellisten vaatimusten ja sitä koskevien direktiivin muiden ehtojen mukainen.
French	Par la présente Dell Inc. déclare que l'appareil Wireless Device est conforme aux exigences essentielles et aux autres dispositions pertinentes de la directive 1999/5/CE.
German	Hiermit erklärt Dell Inc., dass sich das Gerät Wireless Device in Übereinstimmung mit den grundlegenden Anforderungen und den übrigen einschlägigen Bestimmungen der Richtlinie 1999/5/EG befindet.
Greek	ΜΕ ΤΗΝ ΠΑΡΟΥΣΑ Dell Inc. ΔΗΛΩΝΕΙ ΟΤΙ Wireless Device ΣΥΜΜΟΡΦΩΝΕΤΑΙ ΠΡΟΣ ΤΙΣ ΟΥΣΙΩΔΕΙΣ ΑΠΑΙΤΗΣΕΙΣ ΚΑΙ ΤΙΣ ΛΟΙΠΕΣ ΣΧΕΤΙΚΕΣ ΔΙΑΤΑΞΕΙΣ ΤΗΣ ΟΔΗΓΙΑΣ 1999/5/EK.
Hungarian	Alulírott, Dell Inc. nyilatkozom, hogy a Wireless Device megfelel a vonatkozó alapvető követelményeknek és az 1999/5/EC irányelv egyéb előírásainak.
Icelandic	Hér með lýsir Dell Inc. yfir því að Wireless Device er í samræmi við grunnkröfur og aðrar kröfur, sem gerðar eru í tilskipun 1999/5/EC.
Italian	Con la presente Dell Inc. dichiara che questo Wireless Device è conforme ai requisiti essenziali ed alle altre disposizioni pertinenti stabilite dalla direttiva 1999/5/CE.
Latvian	Ar šo Dell Inc. deklarē, ka Wireless Device atbilst Direktīvas 1999/5/EK būtiskajām prasībām un citiem ar to saistītajiem noteikumiem.
Lithuanian	Šiuo Dell Inc. deklaruoja, kad šis Wireless Device atitinka esminius reikalavimus ir kitas 1999/5/EB Direktyvos nuostatas.
Maltese	Hawnhekk, Dell Inc., jiddikjara li dan Wireless Device jikkonforma mal-ħtiġijiet essenzjali u ma provvedimenti oħrajn relevanti li hemm fid-Direttiva 1999/5/EC.
Norwegian	Dell Inc. erklærer herved at utstyret Wireless Device er i samsvar med de grunnleggende krav og øvrige relevante krav i direktiv 1999/5/EF.
Polish	Niniejszym Dell Inc. oświadcza, że Wireless Device jest zgodny z zasadniczymi wymogami oraz pozostałymi stosownymi postanowieniami Dyrektywy 1999/5/EC.
Portuguese	Dell Inc. declara que este Wireless Device está conforme com os requisitos essenciais e outras disposições da Directiva 1999/5/CE.
Romania	Uniunea Europeană, Declarație de Conformitate R&TTE Dell declară prin prezenta, că acest dispozitiv fără fir Dell™ respectă cerințele esențiale, precum și alte dispoziții relevante ale Directivei 1999/5/EC.
Slovak	Dell Inc. týmto vyhlasuje, že Wireless Device spĺňa základné požiadavky a všetky príslušné ustanovenia Smernice 1999/5/ES.
Slovenian	Dell Inc. izjavlja, da je ta Wireless Device v skladu z bistvenimi zahtevami in ostalimi relevantnimi določili direktive 1999/5/ES.
Spanish	Por medio de la presente Dell Inc. declara que el Wireless Device cumple con los requisitos esenciales y cualesquiera otras disposiciones aplicables o exigibles de la Directiva 1999/5/CE.
Swedish	Härmed intygar Dell Inc. att denna Wireless Device står i överensstämmelse med de väsentliga egenskapskrav

och övriga relevanta bestämmelser som framgår av direktiv 1999/5/EG.

Turkey	Avrupa Birliği, R&TTE Uygunluk Bildirimi Burada, Dell Inc. bu Dell Kablosuz Aygıtının Directive 1999/5/EC kararının esas şartları ve diğer ilgili hükümleri ile uyumlu olduğunu beyan eder.
---------------	---

This product is intended to be used in all countries of the European Economic Area with the following restrictions:

Restrictions on IEEE 802.11a or IEEE 802.11n operation:

- Wireless network adapters that are capable of IEEE 802.11a or IEEE 802.11n operation are for indoor use only when they are using channels 36, 40, 44, 48, 52, 56, 60, or 64 (5150–5350 MHz).
- Dynamic frequency selection (DFS) and transmit power control (TPC) must remain enabled to ensure product compliance with EC regulations.
- To ensure compliance with local regulations, be sure to set your computer to the country in which you are using a wireless network adapter ((see [Radio Approvals](#)).
- Dell Wireless 1550 product can be used only indoors in the following countries: Austria, Belgium, Bulgaria, Czech Republic, Germany, Cyprus, Denmark, Estonia, Finland, France, Greece, Hungary, Iceland, Ireland, Italy, Latvia, Lithuania, Luxembourg, Malta, The Netherlands, Norway, Portugal, Poland, Romania, Spain, Slovak Republic, Slovenia, Sweden, Switzerland, Turkey, and United Kingdom.
- There may be restrictions on using 5-GHz, 40-MHz wide channels in some EU countries. Please check with local authorities.

France

In all Metropolitan départements, wireless LAN frequencies can be used under the following conditions, either for public or private use:

- Indoor use: maximum power (EIRP) of 100 mW for the entire 2400–2483.5 MHz frequency band.
- Outdoor use: maximum power (EIRP) of 100 mW for the 2400–2454 MHz band and with maximum power (EIRP) of 10 mW for the 2454–2483.5 MHz band.

Restrictions d'utilisation en France

Pour la France métropolitaine:

- 2.400 - 2.4835 GHz (Canaux 1 à 13) autorisé en usage intérieur
- 2.400 - 2.454 GHz (canaux 1 à 7) autorisé en usage extérieur

Pour la Guyane et la Réunion:

- 2.400 - 2.4835 GHz (Canaux 1 à 13) autorisé en usage intérieur
- 2.420 - 2.4835 GHz (canaux 5 à 13) autorisé en usage extérieur

Pour tout le territoire Français:

- Seulement 5.15 - 5.35 GHz autorisé pour le 802.11a

Italy

Limitazioni d'uso per l'Italia

Un'autorizzazione generale è chiesta per uso esterno in Italia. L'uso di queste apparecchiature è regolato vicino:

- D.L.gs 1.8.2003, n. 259, article 104 (activity subject to general authorization) for outdoor use and article 105 (free use) for indoor use, in both cases for private use.
- D.M. 28.5.03, for supply to public of RLAN access to networks and telecom services.

L'uso degli apparati è regolamentato da:

- D.L.gs 1.8.2003, n. 259, articoli 104 (attività soggette ad autorizzazione generale) se utilizzati al di fuori del proprio fondo e 105 (libero uso) se utilizzati entro il proprio fondo, in entrambi i casi per uso privato;
- D.M. 28.5.03, per la fornitura al pubblico dell'accesso R-LAN alle reti e ai servizi di telecomunicazioni.

Korea



Radio Notice

한국, MIC 규정

"당해 무선설비는 운용 중 전파혼신 가능성이 있음"

B급 기기 (가정용 정보통신기기)

이 기기는 가정용으로 전자파적합등록을 한 기기로서
주거지역에서는 물론 모든지역에서 사용할 수 있습니다.

This radio equipment may cause interference during operation. Therefore, this radio equipment cannot be operated in an area that is providing services related to human safety.

Taiwan DGT

General WLAN Products

Article 12

Unless granted permission by Taiwan DGT, no company, firm, or user shall alter the frequency, increase the power, or change the characteristics and functions of the original design of an approved low-power radio frequency device.

Article 14

Low-power radio frequency devices shall not affect navigation safety nor interfere with legal communications. If an interference is found, the service will be suspended until improvement is made and the interference no longer exists.

Legal communications refers to the wireless telecommunication operations that comply with telecommunications laws and regulations. Low-power radio frequency devices should be able to tolerate any interference from legal communications or industrial and scientific applications.

台灣 DGT

低功率電波輻射性電機管理辦法

第十二條經型式認證合格之低功率射頻電機，非經許可，公司、商號或使用者均不得擅自變更頻率、加大功率或變更原設計之特性及功能。

第十四條低功率射頻電機之使用不得影響飛航安全及干擾合法通信；經發現有干擾現象時，應立即停用，並改善至無干擾時方得繼續使用。

前項合法通信，指依電信規定作業之無線電信。低功率射頻電機須忍受合法通信或工業、科學及醫療用電波輻射性電機設備之干擾。

5.25 to 5.35 GHz Band Products

Radio devices using the 5.25 GHz to 5.35 GHz bands are restricted to indoor use only.

低功率電波輻射性電機管理辦法

第十二條經型式認證合格之低功率射頻電機，非經許可，公司、商號或使用者均不得擅自變更頻率、加大功率或變更原設計之特性及功能。

第十四條低功率射頻電機之使用不得影響飛航安全及干擾合法通信；經發現有干擾現象時，應立即停用，並改善至無干擾時方得繼續使用。

前項合法通信，指依電信規定作業之無線電信。低功率射頻電機須忍受合法通信或工業、科學及醫療用電波輻射性電機設備之干擾。

在 5.25G ~5.35G 頻帶內操作之無線資訊傳輸設備僅適於室內使用

Radio Approvals

It is important to ensure that you use your Dell Wireless WLAN Card only in countries where it is approved for use. To determine whether you are allowed to use your Dell Wireless WLAN Card in a specific country, check to see if the radio type number that is printed on the identification label of your device is listed on the radio approval list posted on the Dell support site at <http://support.dell.com/>.

In countries other than the United States and Japan, verify that the Location setting from the Regional Options tab in Regional and Language Options (from Control Panel) has been set to the country in which you are using your Dell Wireless WLAN Card. This ensures compliance with local regulatory restrictions on transmit power and optimizes network performance. Any deviation from the permissible power and frequency settings for the country of use is an infringement of national law and may be punished as such.

[Back to Contents Page](#)

Microsoft® Windows® WZC を使用した高度なネットワークへの接続: Dell™ ワイヤレス WLAN カード ユーザーズ ガイド

- [概要](#)
- [ネットワーク接続プロファイルの作成](#)
- [EAP 認証を使用した WPA クライアント](#)

概要

このユーザー ガイドでは便宜上、高度なネットワークは、何らかの形で [EAP](#) (802.1X ともいう) 認証を使用するインフラストラクチャ ネットワークとして定義されています。

ネットワークに接続するには、最初にネットワーク接続プロファイルを作成する必要があります。このプロファイルは、ネットワーク名と、ネットワークに必要なセキュリティ設定で構成されます。

インフラストラクチャ ネットワークの接続プロファイルを作成すると、このプロファイルが、[ワイヤレス ネットワーク] タブの [\[優先する ネットワーク\]](#) 一覧の最上部に追加され、そのプロファイルを使用してネットワークへの接続が自動的に試行されます。ネットワークが有効範囲にある場合、接続が確立されます。ネットワークが有効範囲を外れている場合、一覧の最上部にプロファイルが追加されますが、コンピュータは、有効範囲内にあるネットワークが一覧内で見つかるまで、一覧内の次のプロファイルを使用して接続を試行します。一覧の接続プロファイルを上下に移動すると、プロファイルを好きな順序に配列できます。

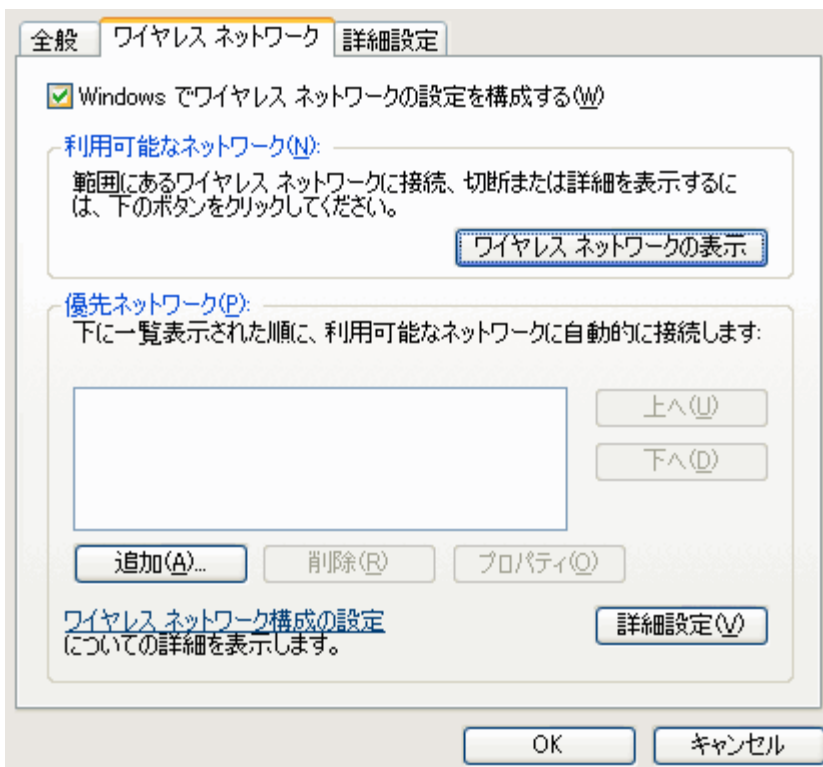
次に進む前に、「[作業の前に](#)」の項に記載する情報を見直してください。

ネットワーク接続プロファイルの作成

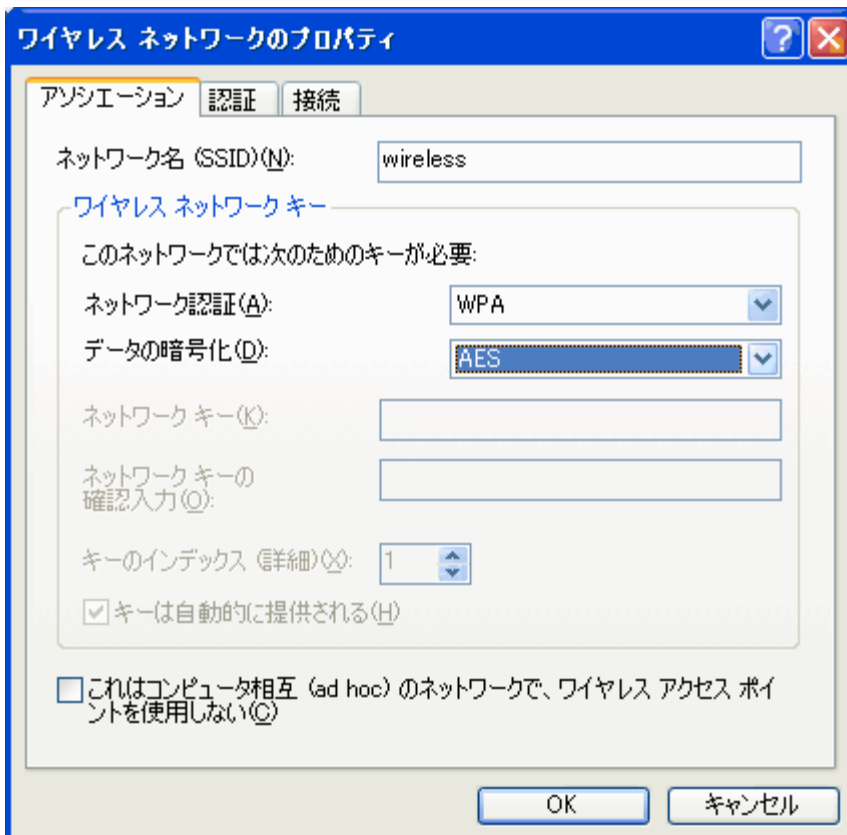
- [TKIP または AES 暗号化を使用した WPA クライアント](#)
- [TKIP または AES 暗号化、および PEAP EAP 認証を使用した WPA クライアント](#)

TKIP または AES 暗号化を使用した WPA クライアント または PEAP EAP 認証を使用した WPA クライアント

- [コントロール パネル] の [ネットワーク接続] をダブルクリックします。
- [ネットワーク接続] ウィンドウで、[ワイヤレス ネットワーク接続] を右クリックし、[プロパティ] をクリックします。
- [ワイヤレス ネットワーク] タブで、[Windows を使ってワイヤレス ネットワークの設定を構成する] チェック ボックスがオンになっているか確認します。このチェック ボックスがオンになっていない場合はクリックしてオンにします。
- [追加] をクリックします。

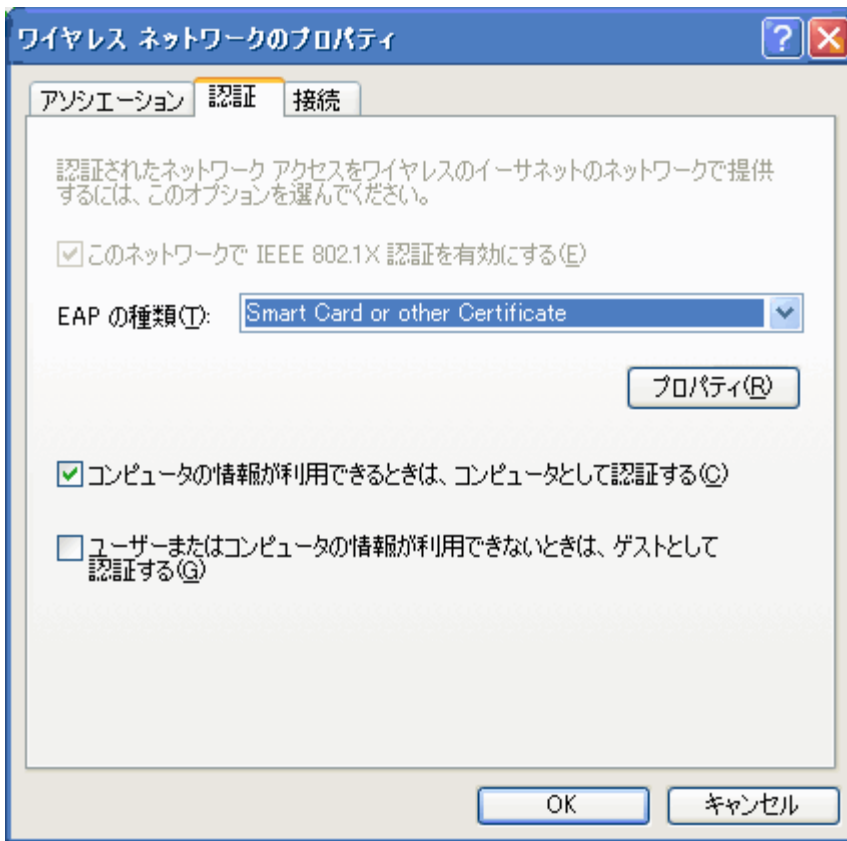


- [ネットワーク名 (SSID)] ボックスにネットワーク名を入力します。
- [ネットワーク認証] 一覧で、**[WPA]** (Wi-Fi Protected Access) をクリックします。
- [データの暗号化] 一覧で、使用しているネットワーク暗号化方式に応じて **[TKIP]** または **[AES]** をクリックします。
- [認証] タブをクリックします。




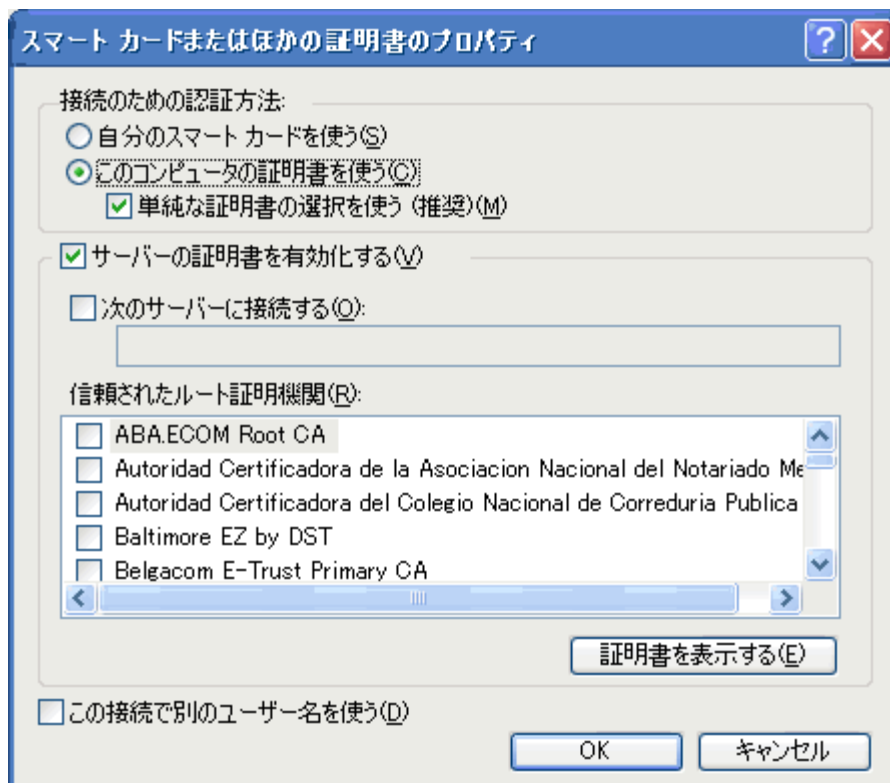
- [EAP の種類] 一覧で、**[スマート カードまたはその他の証明書]** をクリックし、**[プロパティ]** をクリックします。

 注: ネットワークで証明書を使用する場合は、「[証明書の取得](#)」を参照してください。




- スマート カードを使用する場合は、[Use my smart card (スマート カードを使用)] をクリックして [OK] をクリックします。
または
証明書を使用する場合は、[このコンピュータの証明書を使う] をクリックし、[信頼されたルート証明機関] の適切な証明書の名前をクリックし、[OK] をクリックします。

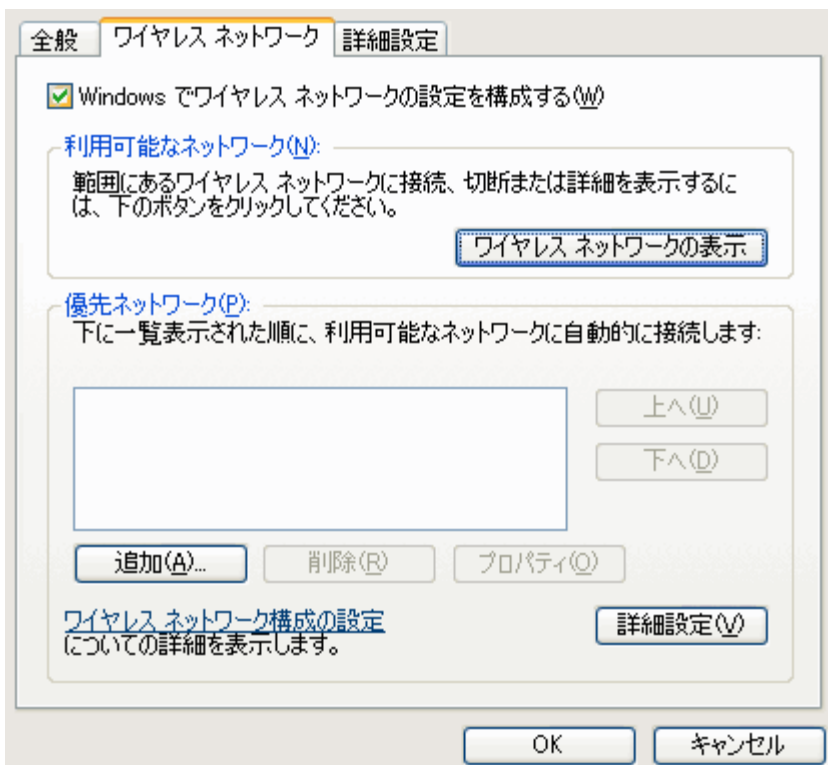
 注: 適切な証明書が見つからないか、どの証明書を使用したらよいか不明な場合は、ネットワーク管理者に問い合わせてください。



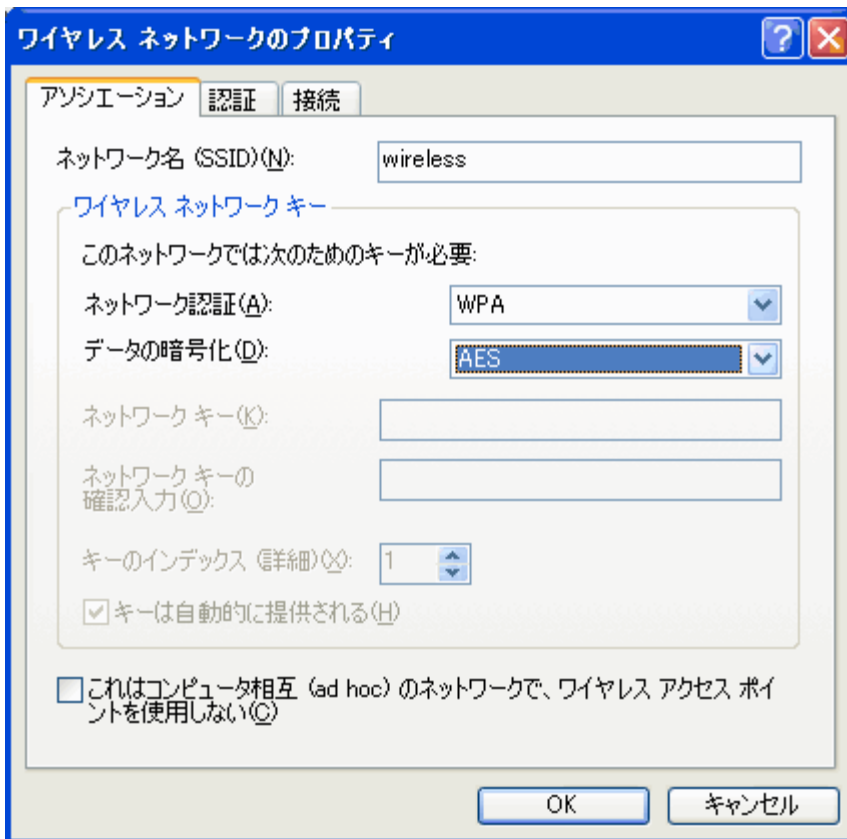
TKIP または AES 暗号化、および PEAP EAP 認証を使用した WPA クライアント

 注: PEAP 認証には証明書が必要な場合があります。「[証明書の取得](#)」を参照してください。

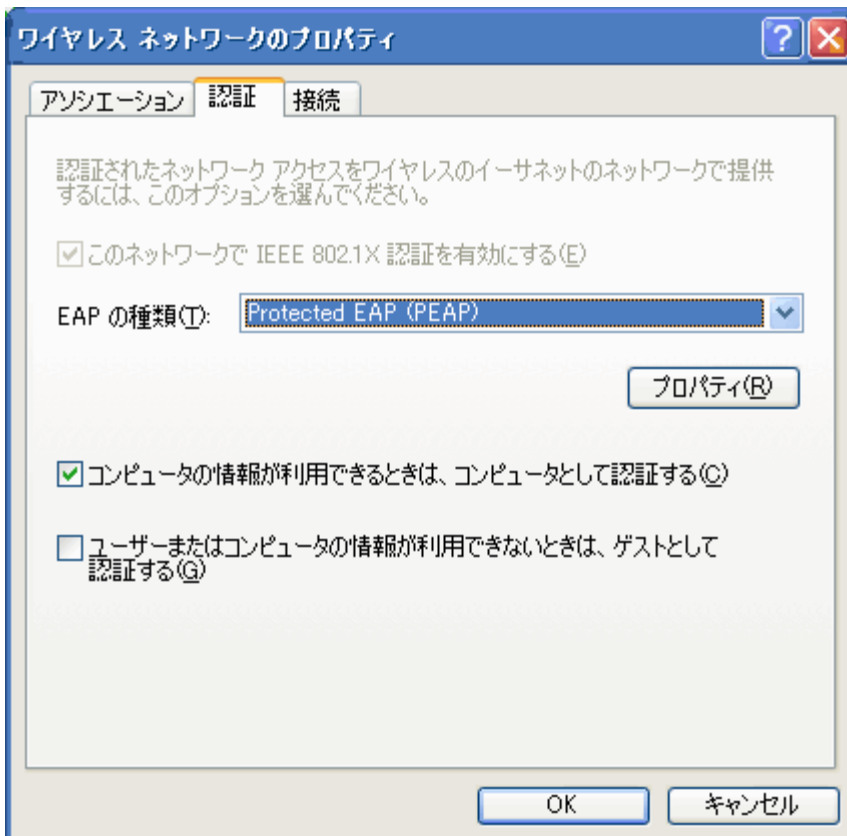
- [コントロール パネル] の [ネットワーク接続] をダブルクリックします。
- [ネットワーク接続] ウィンドウで、[ワイヤレス ネットワーク接続] を右クリックし、[プロパティ] をクリックします。
- [ワイヤレス ネットワーク] タブで、[Windows を使ってワイヤレス ネットワークの設定を構成する] チェック ボックスがオンになっているか確認します。このチェック ボックスがオンになっていない場合はクリックしてオンにします。
- [追加] をクリックします。



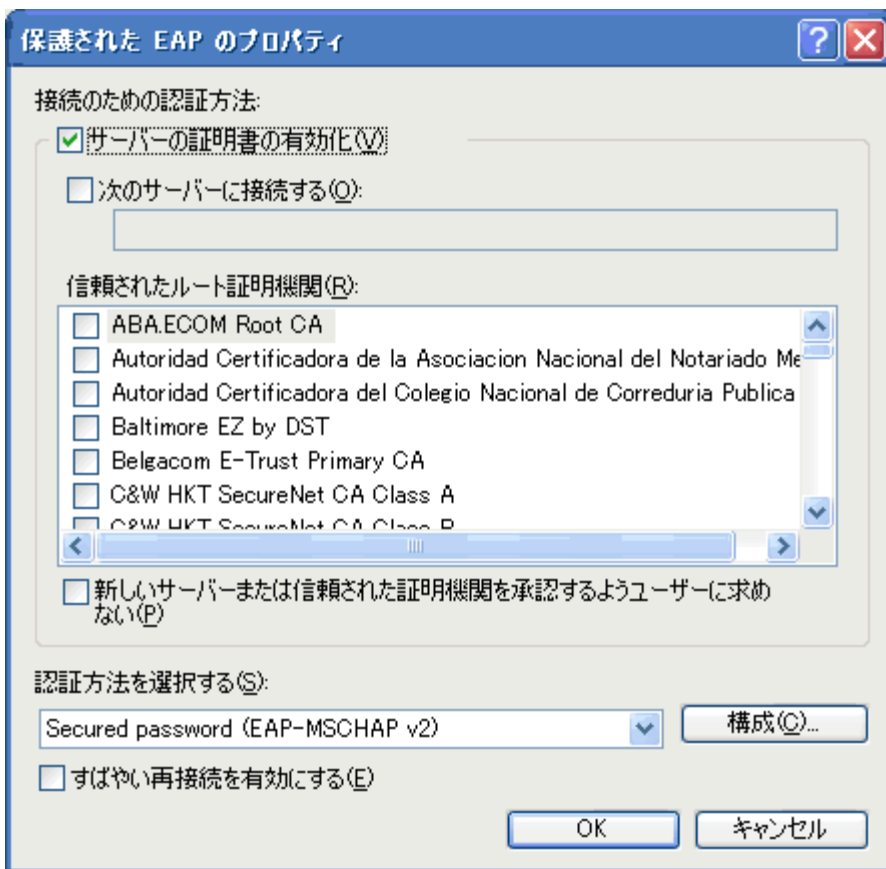
- [ネットワーク名 (SSID)] ボックスにネットワーク名を入力します。
- [ネットワーク認証] の一覧で、[WPA](#) (Wi-Fi Protected Access) をクリックします。
- [データの暗号化] の一覧で、使用しているネットワークの暗号化方式に従って [TKIP](#) または [AES](#) をクリックします。
- [認証] タブをクリックします。



- [EAPの種類] 一覧で、[保護された EAP \(PEAP\)](#) をクリックします。
- [プロパティ] をクリックします。



- [認証方式を選択する] 一覧で、[Secured password (EAP-MSCHAP v2) (セキュリティで保護されたパスワード (EAP-MSCHAP v2))] をクリックします。[設定] をクリックしてこの設定を確認し、[OK] をクリックします ([Windows のログオン名とパスワード (およびドメインがある場合はドメイン) を自動的に使う] チェック ボックスをオンにしてください)。
- [OK] をクリックします。



□□□□ [OK] をクリックします。

Ô^Ã÷•ø×ÎÈµÃ

- [Windows 2000 Server/Microsoft® Windows Server® 2003 からの証明書の取得](#)
- [ファイルからの証明書の取得](#)



注:

- この項の情報はネットワーク管理者を対象としています。エンタープライズ ユーザーの場合は、ネットワーク管理者に問い合わせ、TLS 認証のためのクライアント証明書を入手してください。
- TLS EAP および TLS PEAP 認証では、ログオンするユーザー アカウント用の [ユーザーストア](#) 内のクライアント証明書と、[ルートストア](#) 内の信頼できる認証機関 (CA) 証明書が必要です。証明書は、Windows 2000 Server/Microsoft® Windows Server® システム上に保存されている企業認証機関から入手するか、Internet Explorer® 証明書のインポートウィザードを使用して入手できます。

Windows 2000 Server/Microsoft® Windows Server® 2003 からの証明書の取得

- Microsoft Internet Explorer を開き、認証機関 (CA) HTTP サービスを参照します。
- 認証サーバーで作成したユーザー アカウントのユーザー名とパスワードを使用して CA 認証機関にログオンします。このユーザー名およびパスワードは、Windows ユーザー名およびパスワードと一致する必要はありません。
- [Welcome (ようこそ)] ページで [証明書の要求] をクリックします。
- [証明書の要求] ページで [証明書の要求の詳細設定] をクリックします。
- [証明書の要求の詳細設定] ページで、[作成] をクリックし、この CA に要求を送信します。
- 次の [証明書の要求の詳細設定] ページの [証明書テンプレート] の一覧から [ユーザー] をクリックします。
- [キーのオプション] で、[エクスポート可能なキーとしてマークする] チェック ボックスがオンになっていることを確認し、[送信] をクリックします。
- [Certificate Issued (発行する証明書)] ページで、[この証明書のインストール] をクリックし、[はい] をクリックして続行します。
- 証明書が正しくインストールされると、新しい証明書が適切にインストールされたというメッセージが表示されます。
- インストールを確認するには、Microsoft Internet Explorer の [ツール] メニューの [インターネット オプション] をクリックします。[コンテンツ] タブをクリックして [証明書] をクリックします。新しい証明書が [個人] タブに表示されます。

ファイルからの証明書の取得

- デスクトップの Internet Explorer アイコンを右クリックし、[プロパティ] をクリックします。
 - [コンテンツ] タブをクリックして [証明書] をクリックします。
 - 証明書の一覧の下に [インポート] をクリックします。 証明書のインポート ウィザードが起動します。
 - [次へ] をクリックします。
 - ファイルを選択してパスワード ページをクリックします。
 - ファイルのパスワードを入力し、[強力な秘密キーの保護] オプションが選択されていないことを確認します。
 - 証明書ストア ページで、証明書の種類に基づいて [Automatically select certificate store (証明書ストアを自動的に選択)] を選択します。
 - 証明書のインポートを実行し、[完了] をクリックします。
-

[コンテンツ ページに戻る](#)

トラブルシューティング: Dell™ ワイヤレス WLAN カード ユーザーズ ガイド

- [トラブルシューティングの手順](#)
- [ヘルプの入手](#)

トラブルシューティングの手順

問題または症状	解決策
ワイヤレス ネットワーク ウィザードで非ブロードキャスト ネットワークを検出できない。	非ブロードキャスト ネットワークが有効範囲内にないか、間違ったネットワーク名が入力されました。ネットワーク名には大文字と小文字の区別があります。アクセス ポイント (AP) が有効範囲内にあるかどうか不明な場合は、ネットワーク名のスペルをチェックして再試行してください。正しいネットワーク名が入力されたかどうか不明な場合は、AP の近くにコンピュータを移動し、再試行してください。
ワイヤレス クライアント コンピュータと アクセス ポイント が 関連付け られない。	<ul style="list-style-type: none">無線が有効になっていることを確認します。無線を有効にするには、システム トレイの  アイコンを右クリックし、[有効] をクリックします。Dell ワイヤレス WLAN カードが Mini PCI タイプまたはミニカードタイプのワイヤレス ネットワーキング カードの場合、コンピュータの種類に応じて <Fn> キーと <F2> キーを同時に押すか、ON/OFF スイッチをスライドして無線のオンとオフを切り替えることもできます。PC カードまたは ExpressCard 型カードの場合、<Fn> キーと <F2> キーを組み合わせる方法やスライド スイッチを押す方法は利用できません。ネットワークに接続するためのすべての手順に従っていることを確認します (「Microsoft® Windows® WZC を使用した基本ネットワークへの接続」、「Microsoft® Windows® WZC を使用した高度なネットワークへの接続」、または 「Windows Vista® 上の高度なネットワークへの接続」を参照)。アクセス ポイントが正常に機能していることとネットワーク接続プロファイルがアクセス ポイントの設定と適合していることを確認します。アクセス ポイントの近くにコンピュータを移動します。信号強度 が低くないかどうかを確認します。低い場合は、アクセス ポイントのチャンネルを 1 に変更し、再テストしてください。問題が解決しない場合は、アクセス ポイントのチャンネルを 11 に変更し、再テストしてください。問題が解決しない場合は、アクセス ポイントのチャンネルを 6 に変更し、再テストしてください。
利用可能な アドホック通信ネットワーク を検出できない。またアドホック通信ネットワークを作成できない。	1. [アクセスするネットワーク] オプションが [アクセス ポイント (インフラストラクチャ) のネットワークのみ] に設定されている可能性があります。その場合は、設定を [利用可能なネットワーク (アクセス ポイント優先)] または [コンピュータ相互 (アドホック) ネットワークのみ] に変更してください。
ワイヤレス ネットワークがときどき切断される。	<ul style="list-style-type: none">ネットワークに接続するためのすべての手順に従っていることを確認します (「Microsoft® Windows® WZC を使用した基本ネットワークへの接続」、「Microsoft® Windows® WZC を使用した高度なネットワークへの接続」、または 「Windows Vista® 上の高度なネットワークへの接続」を参照)。アクセス ポイントが正常に機能していることとネットワーク接続プロファイルがアクセス ポイントの設定と適合していることを確認します。アクセス ポイントの近くにコンピュータを移動します。信号強度 が低くないかどうかを確認します。低い場合は、アクセス ポイントのチャンネルを 1 に変更し、再テストしてください。問題が解決しない場合は、アクセス ポイントのチャンネルを 11 に変更し、再テストしてください。問題が解決しない場合は、アクセス ポイントのチャンネルを 6 に変更し、再テストしてください。
ワイヤレス接続速度が予想よりも遅い。	<ul style="list-style-type: none">ネットワークに接続するためのすべての手順に従っていることを確認します (「Microsoft® Windows® WZC を使用した基本ネットワークへの接続」、「Microsoft® Windows® WZC を使用した高度なネットワークへの接続」、または 「Windows Vista® 上の高度なネットワークへの接続」を参照)。アクセス ポイントが正常に機能していることとネットワーク接続プロファイルがアクセス ポイントの設定と適合していることを確認します。アクセス ポイントの近くにコンピュータを移動します。信号強度 が低くないかどうかを確認します。低い場合は、アクセス ポイントのチャンネルを 1 に変更し、再テストしてください。問題が解決しない場合は、アクセス ポイントのチャンネルを 11 に変更し、再テストしてください。問題が解決しない場合は、アクセス ポイントのチャンネルを 6 に

	変更し、再テストしてください。
ワイヤレス ネットワーク名が [利用できるネットワーク] の一覧に表示されない。	<ul style="list-style-type: none"> • アクセス ポイントが正常に機能していることを確認します。 • ワイヤレス ネットワークの SSID (ネットワーク名) をチェックし、アクセス ポイントが SSID を送信するように設定されていることを確認します。 • 信号強度が低いかどうかを確認します。低い場合は、アクセス ポイントのチャンネルを 1 に変更し、再テストしてください。問題が解決しない場合は、アクセス ポイントのチャンネルを 11 に変更し、再テストしてください。問題が解決しない場合は、アクセス ポイントのチャンネルを 6 に変更し、再テストしてください。 • アクセス ポイントの近くにコンピュータを移動します。 • ワイヤレス ネットワークが非ブロードキャスト ネットワークの場合、ネットワーク名は、そのネットワークのネットワーク プロファイルが作成されないと、一覧に表示されません。
コンピュータで通信できるが、[マイ コンピュータ] ウィンドウや [マイ ネットワーク] ウィンドウにコンピュータが表示されない。	<p>使用ネットワーク上にあるすべてのコンピュータで [ファイルとプリンタの共有] が有効になっていることを確認します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [コントロール パネル] の [ネットワーク接続] を開きます。 • [ワイヤレス ネットワーク接続] を右クリックし、[プロパティ] をクリックします。 • [全般] タブの [この接続は次の項目を使用します] の一覧で、[Microsoft ネットワーク用ファイルとプリンタ共有] チェック ボックスがオンになっていることを確認します。この項目がない場合は、[インストール] をクリックします。[ネットワーク コンポーネントの種類を選択] ボックスで [サービス] を選択し、[追加] をクリックします。[ネットワーク サービスの選択] ボックスで [Microsoft ネットワーク用ファイルとプリンタ共有] を選択して [OK] をクリックします。
データ転送速度がときどき遅くなる。	電子レンジやコードレス電話の中には、Dell ワイヤレス WLAN カードと同じ無線周波数で動作するものがあります。電子レンジやコードレス電話を使用すると、ワイヤレス ネットワークを干渉します。Dell ワイヤレス WLAN カードは、周波数 2.4 GHz で動作する電子レンジおよびコードレス電話から 6 m 以上離してください。
データ転送速度がいつも遅い。	一部の家屋および大部分の事務所には鉄骨フレーム構造が使用されています。このような建物の鉄骨はネットワーク無線信号を干渉する場合があります。データ転送速度の低下を引き起こします。コンピュータを建物内のさまざまな場所に移動し、パフォーマンスが改善するかどうかを確認してください。
コンピュータでネットワーク通信ができない。	<ul style="list-style-type: none"> • ネットワークに接続するためのすべての手順に従っていることを確認します (「Microsoft® Windows® WZC を使用した基本ネットワークへの接続」、「Microsoft® Windows® WZC を使用した高度なネットワークへの接続」、または「Windows Vista® 上の高度なネットワークへの接続」を参照)。 • コンピュータがアクセス ポイントから良好な信号を受信していることを確認します。 • ファイアウォール ソフトウェアを無効にするか、アンインストールしないと、ネットワークに接続できない場合があります。 • ネットワーク ポートからアクセス ポイントまでのケーブルをチェックし、アクセス ポイントの前面の電源ライトが点灯することを確認します。
ワイヤレス ネットワーク接続の信号強度が弱い。	<p>アクセス ポイントの近くにコンピュータを移動します。</p> <p>電子レンジやコードレス電話の中には、Dell ワイヤレス WLAN カードと同じ無線周波数で動作するものがあります。電子レンジやコードレス電話を使用すると、ワイヤレス ネットワークを干渉します。Dell ワイヤレス WLAN カードは、周波数 2.4 GHz で動作する電子レンジおよびコードレス電話から 6 m 以上離してください。</p>
これまで機能していたネットワークで受信できていた信号を、ワイヤレス ネットワーク接続で受信できない。	<ul style="list-style-type: none"> • コンピュータは初回接続に失敗した可能性があります。数秒間待ってください。 • コンピュータがアクセス ポイントの有効範囲から外れている可能性があります。アクセス ポイントにコンピュータを近づけてください。
スマート カードを装着しても、スマート カードを挿入するように求めるメッセージが表示される。	スマート カードリーダーがスマート カードを読み込めません。ネットワーク管理者に問い合わせてください。スマート カードリーダーのドライバと適切なサードパーティ製スマート カード ソフトウェアをコンピュータにインストールする必要があります。
スマート カードを装着してもシングル サイン オンを実行できない。	間違った ID または PIN が入力されたか、不正な PIN エントリが多すぎるためにスマート カードがブロックされたか、またはスマート カードが適切に設定されていません。この問題の原因が不適切な ID や PIN によるものである場合は、システム管理者に問い合わせるスマート カードが正しく設定されていることを確認してください。

ヘルプの入手

Dell のテクニカル サポートには <http://support.dell.com/> からアクセスできます。

また、Microsoft® Windows® XP オペレーティング システムにはトラブルシューティング ツールも組み込まれています。これらのトラブルシューティング ツールにアクセスするには、次の手順に従います。

□□□ [スタート] をクリックします。

□□□ [ヘルプとサポート] をクリックします。

□□□ 左側の一覧で、[ネットワークと Web]、[ホーム ネットワークまたは小規模オフィス ネットワーク]、または [Fixing networking or Web problems (ネットワークまたは Web 問題の解決)] をクリックします。

□□□ 発生している問題、実行するタスク、目的の情報に該当するトラブルシューティング ツールやヘルプ トピックをクリックします。

Windows Vista® の場合は次の手順に従って、これらのネットワーク トラブルシューティング ツールにアクセスします。

□□□ [スタート] をクリックします。

□□□ [ヘルプとサポート] をクリックします。

□□□ 左側の一覧で [トラブルシューティング] をクリックします。

□□□ [ネットワーキング] で、発生している問題、実行するタスク、目的の情報に該当するトピックを選択します。

[コンテンツ ページに戻る](#)

Windows Vista® 上の高度なネットワークへの接続: Dell™ ワイヤレス WLAN カード ユーザーズ ガイド

- [概要](#)
- [ネットワーク接続プロファイルの管理](#)

概要

ネットワークへの初回接続時、ネットワーク プロファイルが Windows によって自動的に作成され、コンピュータに保存されます。その後、コンピュータはネットワークに自動的に接続し、そのネットワークの基本設定が適用されます。


接続先のワイヤレス ネットワークが利用可能なネットワークの一覧に表示されない場合、そのネットワークがブロードキャスト中である可能性があります。その場合でも、ネットワークのプロファイルを作成し、その後でネットワークに自動的に接続できます。

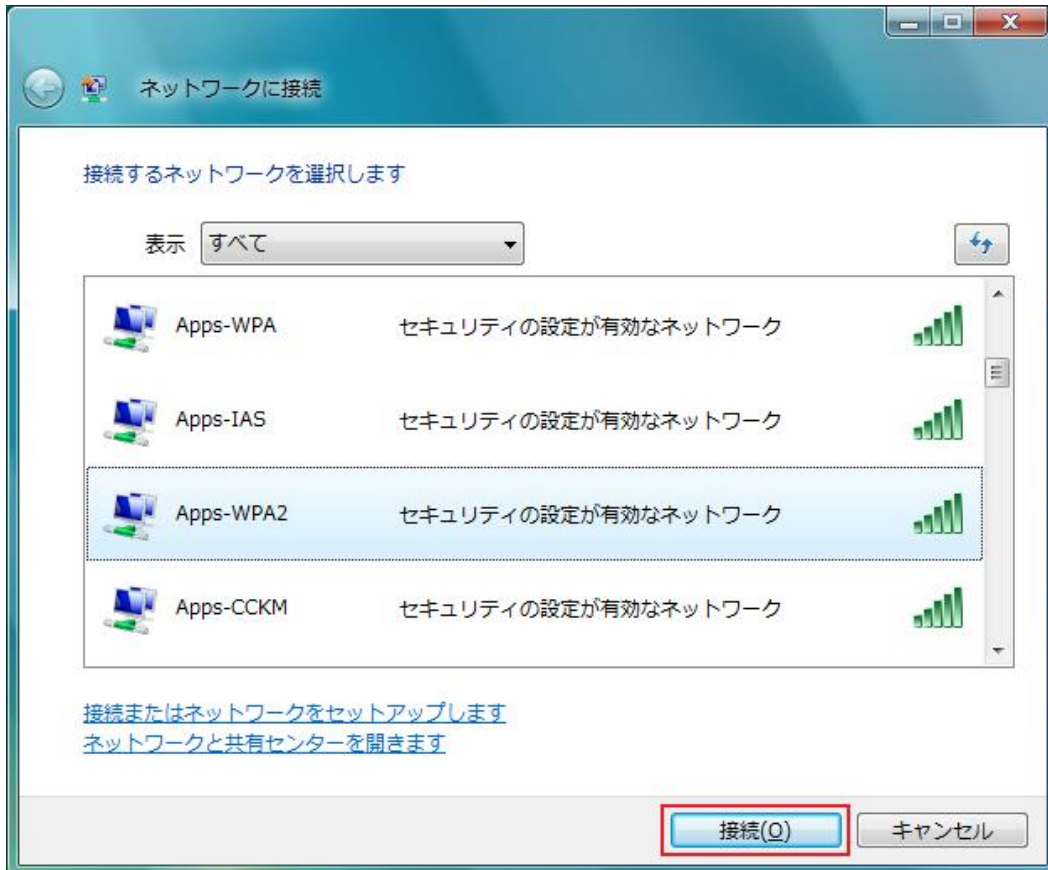
ネットワーク接続プロファイルの管理

- [ネットワーク プロファイルの作成](#)
- [ネットワーク プロファイルの変更](#)
- [ネットワーク プロファイルの削除](#)

ネットワーク プロファイルの作成

ネットワーク プロファイルを作成するには

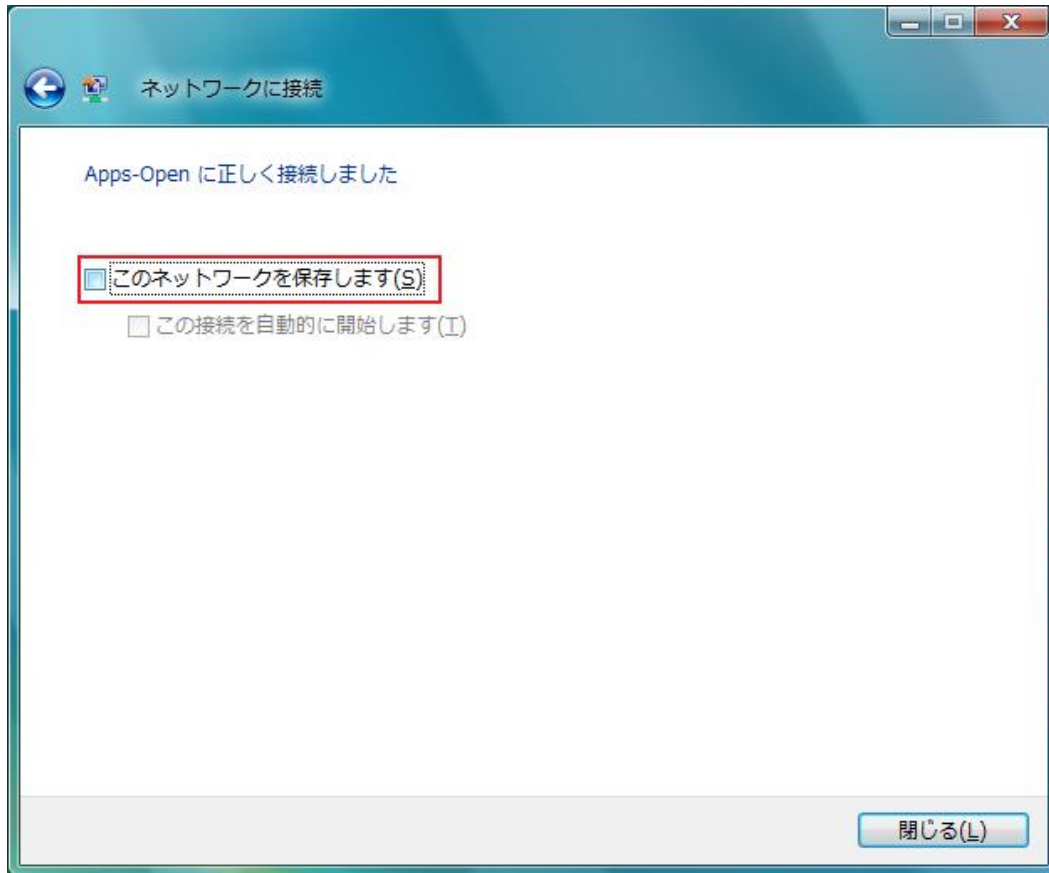
□□□ [スタート]  [Connect to (接続)] をクリックします。利用できるネットワークの一覧が表示されます。



2. 以下のいずれかを実行します。

- プロファイルを作成するネットワークが一覧にある場合は、【接続】をクリックします。 ネットワークに接続するための認証情報を指定します。

ネットワークに正常に接続すると、コンピュータにネットワーク プロファイルを保存するように要求する、次のようなダイアログ ボックスが表示されます。 [ネットワークへの接続] を次回開く際、ネットワークがコンピュータの範囲内にあれば、利用可能なネットワークの一覧にそのネットワークが表示されます。



- プロファイルを作成するネットワークが一覧になく、ネットワークがコンピュータの範囲内にある場合は、次の手順に従って、コンピュータのワイヤレス ネットワーク アダプタが有効になっていることを確認します。

□□□ [スタート]® [コントロール パネル]® [ネットワークとインターネット]® [ネットワークと共有センター] をクリックします。
□□□ [ネットワークと共有センター] で、[ネットワーク接続の管理] をクリックします。



- アダプタが有効で、プロファイルを作成するネットワークが一覧にない場合
□□□ [ネットワークと共有センター] で、[接続またはネットワークのセットアップ] をクリックし、[ワイヤレス ネットワークに手動で接続します] をクリックして、[次へ] をクリックします。
下部の画面では、ネットワーク名とネットワーク セキュリティ 認証情報を指定できます。

ワイヤレス ネットワークに手動で接続します

追加するワイヤレス ネットワークの情報を入力します

ネットワーク名(E):

セキュリティの種類(S): [オプションの選択]

暗号化の種類(R):

セキュリティ キーまたは
パスフレーズ(C): パスワード文字を表示する(D)

この接続を自動的に開始します(I)

ネットワークがブロードキャストを行っていない場合でも接続する(O)

警告: 選択すると、このコンピュータのプライバシーが危険にさらされる可能性があります。

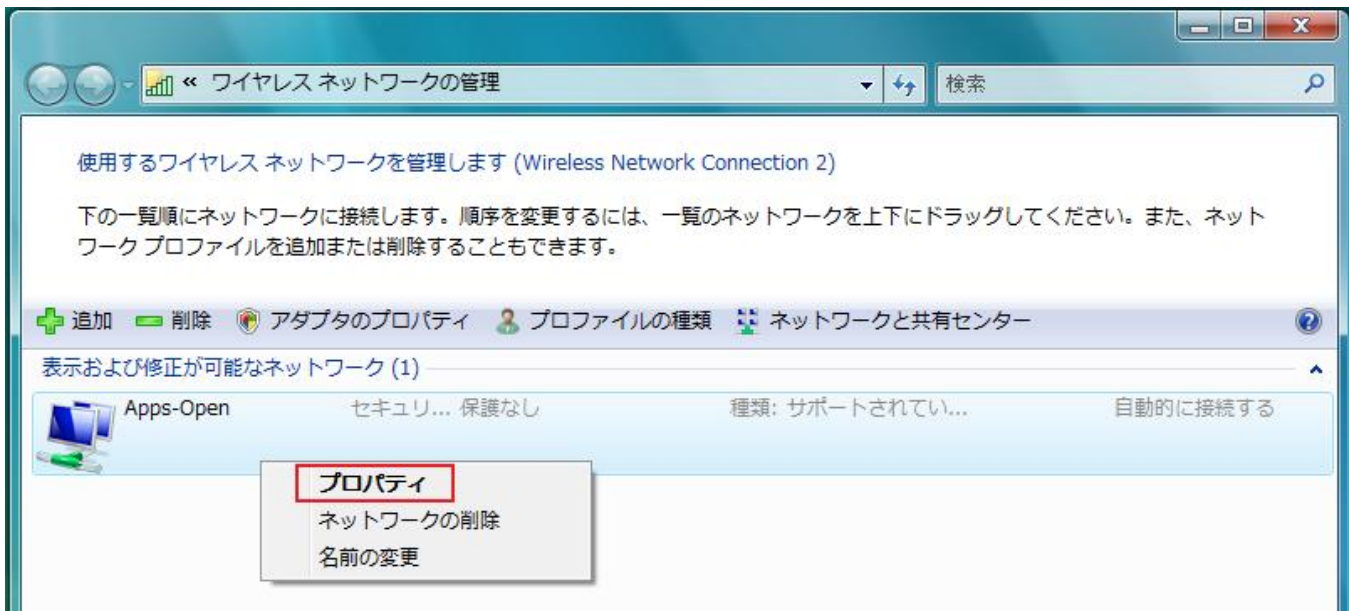
次へ(N) キャンセル

- 手順に従ってネットワークを保存します。ネットワークのプロファイルが作成され、コンピュータに保存されます。特定の認証およびセキュリティ設定を選択するには、[Change connection settings (接続設定の変更)] をクリックします。

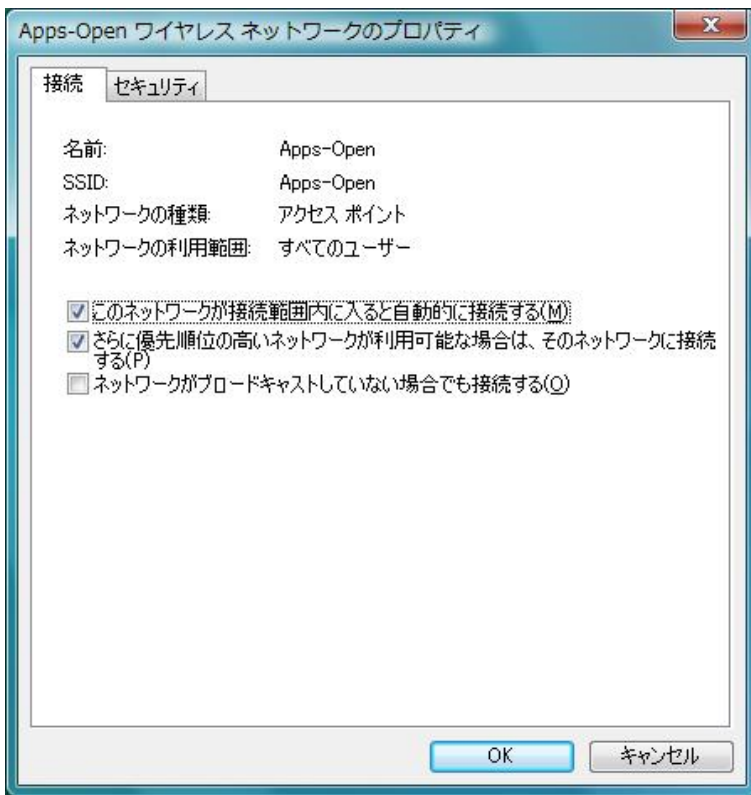
ネットワーク プロファイルの変更

ネットワーク プロファイルを変更するには

- [スタート]® [コントロール パネル]® [ネットワークとインターネット]® [ネットワークと共有センター] をクリックします。
- [ネットワークと共有センター] で [ワイヤレス ネットワークの管理] をクリックします。[表示および修正が可能なネットワーク] で、変更するネットワーク プロファイルを右クリックし、[プロパティ] をクリックします。



【ワイヤレス ネットワークのプロパティ】ダイアログが表示され、選択したプロファイルの接続およびセキュリティ パラメータを変更できます。



ネットワーク プロファイルの削除

ネットワーク プロファイルを削除するには

- [スタート]® [コントロール パネル]® [ネットワークとインターネット]® [ネットワークと共有センター] をクリックします。
- [ネットワークと共有センター] で [ワイヤレス ネットワークの管理] をクリックします。 [表示および修正が可能なネットワーク] で、削除するネットワーク プロファイルを右クリックし、[ネットワークの削除] をクリックします。



[コンテンツ ページに戻る](#)

用語集: Dell™ ワイヤレス WLAN カード ユーザーズ ガイド

[A](#) [B](#) [C](#) [D](#) [E](#) [F](#) [G](#) [H](#) [I](#) [L](#) [M](#) [N](#) [O](#) [P](#) [Q](#) [R](#) [S](#) [T](#) [U](#) [W](#) [イ](#) [シ](#) [ス](#) [ネ](#) [パ](#) [フ](#) [ブ](#) [プ](#) [ホ](#) [ル](#) [レ](#) [ロ](#) [ワ](#) [中](#) [優](#) [利](#) [標](#) [無](#) [省](#) [証](#) [認](#) [関](#) [非](#) [高](#)

A

アクセス ポイント (AP)

スタンドアロンのワイヤレス ハブ。このハブによって、ワイヤレス ネットワーク アダプタを搭載したすべてのコンピュータの他のコンピュータとの通信やインターネットへの接続が可能になります。アクセス ポイントには、既存の有線ネットワークと接続されるインターフェイスが少なくとも 1 つ存在します。

AES

Advanced Encryption Standard (高度暗号化標準) の略。WEP 暗号化技術の後継標準の 1 つ。

B

ベース ステーション

スタンドアロンのワイヤレス ハブ。このハブによって、ワイヤレス ネットワーク アダプタを搭載したすべてのコンピュータの他のコンピュータとの通信やインターネットへの接続が可能になります。ベース ステーションは、通常、アクセス ポイント (AP) と呼ばれます。「[アクセス ポイント](#)」および「[ワイヤレス ルーター/AP](#)」も参照してください。

BER

Bit Error Rate (ビット エラー レート) の略。データ転送で、1 つのロケーションから別のロケーションに送信したビット合計数に対するエラーの比率。

C

CA

Certification Authority (認証機関) の略。ユーザー (エンド エンティティ) またはその他の認証機関に属する公開キーの信憑性を確認し、保証するエンティティ。認証機関の活動には、署名済みの証明書を使用した公開キーと識別名のバインド、証明書シリアル番号の管理、証明書の取り消しなどが含まれる場合があります。

CCK

Complimentary Code Keying (相補コード キー入力) の略。中速~高速の伝送速度で使用される変調技術。

CHAP

Challenge Handshake Authentication Protocol (チャレンジ ハンドシェイク 認証プロトコル) の略。Point-to-Point-Protocol サーバーによって接続の確立時または確立後に接続元の ID を検証するために使用される認証スキーム。

CSMA/CA

Carrier Sense Multiple Access with Collision Avoidance (キャリア検知多重アクセス/衝突回避方式) の略。ドメイン内での衝突発生数を最低限に抑えるための IEEE 802.11 プロトコル。

CSP

Cryptographic Service Provider (暗号サービス プロバイダ) の略。暗号サービス プロバイダには、暗号規格とアルゴリズムの実装が含まれます。[スマートカード](#)は、ハードウェアベースの CSP の一例です。

D

dBm

1 ミリワットの電力を基準にデシベルで電力レベルを表現する単位。

DBPSK

Differential Binary Phase Shift Keying (差動二相位相偏移変調) の略。低速の伝送速度で使用される変調技術。

DHCP

Dynamic Host Configuration Protocol の略。ホストで必要なくなった IP アドレス

DQPSK	を再利用できるように IP アドレスを動的に割り当てるメカニズム。 Differential Quadrature Phase Shift Keying (差動四相位相偏移変調) の略。標準の伝送速度で使用される変調技術。
DSSS	Direct Sequence Spread Spectrum (直接シーケンス スペクトル拡散) の略。拡散技術の 1 つで、各種データ、音声、ビデオなどの信号を、特定の周波数の組み合わせを使用して、最低周波数から最高周波数に、または最高周波数から最低周波数に順次転送します。

E

EAP	Extensible Authentication Protocol (拡張認証プロトコル) の略。EAP によって、ワイヤレス クライアントとネットワーク オペレーション センターにあるサーバー間の相互認証が実行されます。
EIRP	Effective Isotropic Radiated Power (等価等方放射電力) の略。伝送システムの特定方向でのパフォーマンスを表現します。EIRP は、アンテナ入力の電力にアンテナ利得の電力を加えた合計です。

G

GHz	ギガヘルツ。1 000 000 000 サイクル/秒を基本とする周波数の単位。
GINA	Graphical Identification and Authentication の略。Windows オペレーティング システムにある DLL (Dynamic Link Library) ファイルの 1 つ。GINA は、ブート プロセスの初期に読み込まれ、ユーザー ID および認証ログイン プロセスを処理します。
GTC	Generic Token Card (汎用トークン カード) の略。PEAP 認証とともに使用されるトンネル化された認証プロトコルの 1 タイプ。この認証では、ワイヤレス ネットワークへのログオン時にトークン カード デバイスによって表示されたデータをユーザーが入力します。

I

IEEE	Institute of Electrical and Electronics Engineers, Inc. (米国電気電子学会) の略。
IEEE 802.11a	54 Mbps、5 GHz 規格 (1999)。
IEEE 802.11b	11 Mbps、2.4 GHz 規格。
IEEE 802.11d	国際 (2 国間) ローミング用の拡張。
IEEE 802.11e	IEEE 802.11e (2005 年 7 月現在) は、LAN アプリケーション、特に IEEE 802.11 Wi-Fi [®] 規格の一連の Quality of Service 拡張機能を定義するドラフト規格。この規格は、Voice over Wireless IP やストリーミング マルチメディアなど遅延が問題となるアプリケーションで非常に重要であるとされています。
IEEE 802.11g	54 Mbps、2.4 GHz 規格 (IEEE 802.11b と後方互換性あり) (2003)。
IEEE 802.11h	IEEE 802.11 を補完し、欧州の規制に準拠するための規格。この規格では、送信電力制御と動的周波数選択に関する規定が追加されています。
IEEE 802.11i	IEEE 802.11i (WPA2™ とも呼ばれる) は、ワイヤレス ネットワーク用のセキュリティ メカニズムを指定するための IEEE 802.11 規格への修正案です。2004 年 6 月 24 日に承認されたドラフト規格は、重大なセキュリティの脆弱性があることが証明されたそれ以前のセキュリティ仕様である WEP (Wired Equivalent Privacy) に取って代わる仕様です。
IEEE 802.11n	IEEE 802.11n は、IEEE 802.11 規格の修正ドラフトです。IEEE 802.11n ドラフト規格では、ワイヤレス ネットワークにおけるスループットを現状より大幅に増大するために、複数の受信機と送信機の使用に関する仕様を定めています。
IEEE 802.1X-2001	ポート ベース ネットワーク アクセス コントロールのための IEEE 規格。IEEE 802.1X 規格では、ネットワークとのデータ交換の前にネットワーク ノードの認証を強制します。
IETF	Internet Engineering Task Force (インターネット技術標準化委員会) の略。ネットワーク デザイナー、事業者、ベンダー、研究者で構成される大規模な国際公開コミュニティ。インターネット アーキテクチャの発展とインターネットの円滑な運営に携わっています。
IPv6	Internet Protocol Version 6 (インターネット プロトコル バージョン 6)。IPv6 は現行のインターネット プロトコル バージョン 4 (IPv4) に代わる、 IETF によって設計された次世

ISM 周波数	代プロトコルです。 産業、科学、および医療用の周波数帯域。範囲は、902~928 MHz、2.4~2.485 GHz、5.15~5.35 GHz、および 5.75~5.825 GHz です。
ITU-T X.509	暗号化において、ITU-T X.509 は、公開キー基盤 (PKI) の International Telecommunication Union Telecommunication Standardization Sector (ITU-T) による規格です。ITU-T X.509 では、公開キー 証明書 の標準形式および証明パス検証アルゴリズムについて規定しています。
L	
LAN	Local Area Network (ローカル エリア ネットワーク) の略。比較的狭い地理的領域をカバーしている高速低誤差のデータ ネットワーク。
M	
m	メートル。
Mbps	メガビット/秒。毎秒 1 000 000 ビットの送信速度。
MCS	Modulation and Coding Scheme (変調方式) の略。ストリームとコーディング スキームごとの変調を表す指標。これは、IEEE 802.11n が運用されている場合にネットワークが使用する指標です。
MD5	Message Digest 5 (メッセージ ダイジェスト 5) の略。任意の長さの入力メッセージを 128 ビットのフィンガープリント、つまりメッセージ ダイジェストの形式に変換します。これは、サイズの大きなファイルを RSA などの公開キーアルゴリズムで秘密キーを使用して暗号化する前に安全に圧縮する必要があるデジタル署名アプリケーション用に開発された技術です。
MHz	メガヘルツ。毎秒 1 000 000 サイクルの周波数の単位。
MS-CHAP	Microsoft Challenge Handshake Authentication Protocol (Microsoft チャレンジ ハンドシェイク認証プロトコル) の略。MS-CHAP は、Message Digest 4 (MD4) ハッシュ アルゴリズムと Data Encryption Standard (DES) 暗号化アルゴリズムを使用してチャレンジとレスポンスを生成することによって、接続エラーのレポートやユーザー パスワードの変更に使用されるメカニズムを提供します。
MS-CHAPv2	Microsoft Challenge Handshake Authentication Protocol version 2 (Microsoft チャレンジ ハンドシェイク認証プロトコルバージョン 2) の略。このプロトコルでは、相互認証、さらに強固な初期データ暗号キー、および送受信で異なる暗号キーを提供します。MS-CHAP の交換中のパスワード漏洩のリスクを最低限に抑えるために、MS-CHAPv2 では、新しく、さらに安全性の高いバージョンの MS-CHAP パスワード変更プロセスのみをサポートしています。
N	
ns	ナノ秒。10 億分の 1 (1/1 000 000 000) 秒。
O	
OFDM	Orthogonal Frequency Division Multiplexing (直交周波数分割多重方式)。無線信号をさまざまな周波数に分割して信号を送信する周波数分割の変調技術。分割された信号は、連続送信ではなく、同時送信されます。
P	
PAP	Password Authentication Protocol (パスワード認証プロトコル) の略。ポイントツーポイント サーバーにログオンを試行しているユーザーの ID を検証する方法。
PEAP	Protected Extensible Authentication Protocol (保護された拡張認証プロトコル) の

	略。EAP (Extensible Authentication Protocol、拡張認証プロトコル) の 1 バージョン。EAP では、ワイヤレス クライアントとネットワークのオペレーション センターに常駐するサーバー間での相互認証を実行します。
PKI	Public Key Infrastructure (公開キー基盤) の略。公開キー基盤 (PKI) とは、暗号化においてサードパーティによるユーザー ID の審査および保証を行うための取り決めです。また、この基盤では、公開キーをユーザーにバインドすることもできます。通常の場合、このバインドは、中央管理されている場所にあるソフトウェアと分散化している場所にある連携するソフトウェアによって実行されます。一般的に、公開キーは 証明書 内にあります。
Q	
QAM	Quadrature Amplitude Modulation (直交振幅変調) の略。信号の振幅と位相を変化させることでデータに符号化されているシンボルを複数の状態として表現する変調技術。
QoS	Quality of Service (QoS) とは、さまざまなテクノロジーから選択されたネットワーク トラフィックに対してよりよいサービスを提供する機能のこと。「 IEEE 802.11e 」を参照してください。
R	
RADIUS	Remote Access Dial-In User Service (リモート アクセス ダイアルイン ユーザー サービス) の略。
RF	無線周波数 (Radio Frequency) の略。
RTS しきい値	データ パケットのフレーム数がこの値と同じかそれ以上になると、RTS/CTS (送信要求/送信可) ハンドシェイクがオンになってからパケットが送信されます。デフォルト値は 2347 です。
S	
SSID	Service Set Identifier (サービス セット識別子) の略。ワイヤレス ネットワークへのアクセスを制御する値。使用中の Dell ワイヤレス WLAN カードの SSID は、接続するすべてのアクセス ポイントの SSID と一致する必要があります。この値が一致しない場合は、ネットワークへのアクセスは許可されません。SSID は、3 つまで持つことができます。各 SSID は、最高 32 文字の長さで、大文字と小文字を区別します。SSID は、ネットワーク名とも呼ばれます。
STA	Station (ステーション) の略。ワイヤレス LAN ネットワーク アダプタを備えたコンピュータのこと (「 ワイヤレスクライアント 」も参照)。ステーションは、据え置き型またはモバイルのいずれの形態をとることもできます。
信号の強さ	信号の強さとは、送信アンテナから相当の距離にある基準点における信号の大きさのことです。 Windows XP でアクセスポイントの信号の強さを表示するには、[コントロール パネル]、[ネットワーク接続]、[利用できるワイヤレス ネットワークの表示] を順にクリックします。 Windows Vista では、[コントロール パネル]、[ネットワークと共有センター]、[ネットワークへの接続] を順にクリックします。
T	
TKIP	Temporal Key Integrity Protocol (一時キー統合プロトコル) の略。ワイヤレス LAN の IEEE 802.11i 暗号化規格の一部である拡張ワイヤレス セキュリティ プロトコルです。TKIP は、パケットごとのキー ミキシング、メッセージ完全性チェック (MIC)、およびリキーイング メカニズムを提供します
TLS	Transport Layer Security (トランスポート層セキュリティ) の略。SSL (Secure Sockets Layer) プロトコルの後継プロトコルで、2 種類の通信アプリケーション間でプライバシーとデータ整合性を保証します。

TTLS	Tunneled Transport Layer Security (トンネル トランスポート層セキュリティ) の略。ユーザーの認証に使用されるプロトコルおよび資格情報を定義します。TTLS では、クライアントは EAP-TLS を使用して、サーバーを検証し、クライアントとサーバー間に TLS 暗号化チャンネルを作成します。クライアントは、この暗号化チャンネル上で別の認証プロトコル (通常は MD5 チャレンジなどのパスワードベースのプロトコル) を使用して、サーバー検証を有効にできます。チャレンジとレスポンスのパケットは、非公開の TLS 暗号化チャンネル上で送信されます。
U	
UAPSD	Unscheduled Automatic Power Save Delivery の略。 IEEE 802.11e ネットワーク用の拡張省電力モードです。
W	
WEP	Wired Equivalent Privacy の略。データ暗号化の形式の 1 つ。WEP は IEEE 802.11 規格で定義されており、有線ネットワークと同等のレベルのデータの機密性と整合性を提供することを目的としています。WEP を使用するワイヤレス ネットワークは、WPA を使用するワイヤレス ネットワークよりもさまざまな種類の攻撃に対して脆弱です。
WLAN	Wireless Local Area Network (ワイヤレス ローカル エリア ネットワーク) の略。無線経由でデータを送受信するローカル エリア ネットワーク (LAN)。
WMM™	Wi-Fi Multimedia の略。WMM™ では、コンテンツ ストリームに優先順位付けしたり、競合するアプリケーションへのネットワークによる帯域幅割り当ての方法を最適化したりすることで、ワイヤレス ネットワークを使用したオーディオ、ビデオ、および音声アプリケーションでのユーザー体験を向上できます。
WPA™	Wi-Fi Protected Access の略。 Wi-Fi Protected Access™ (WPA2™) は、現行および将来のワイヤレス LAN システムにおけるデータ保護とアクセス制御のレベルを大幅に向上する、相互運用可能な標準ベースのセキュリティ拡張仕様です。既存のハードウェア上でソフトウェアのアップグレードとして実行するように設計されている Wi-Fi Protected Access は、IEEE 802.11 規格の最終修正案 IEEE 802.11i に準拠しています。WPA2 は National Institute of Standards and Technology (NIST) FIPS 140-2 に準拠する AES 暗号化アルゴリズムを採用することにより、政府機関レベルのセキュリティを提供します。WPA2 は WPA と後方互換性があります。
WPA-PSK	Wi-Fi Protected Access Preshared Key の略。認証サーバーを使用しないネットワーク認証モード。WEP または TKIP データ暗号化とともに使用できます。WPA-Personal および WPA2-Personal を使用するには、事前共有キー (PSK) を構成する必要があります。256 ビットの事前共有キーには、8 ~ 63 文字の文字列、または 64 文字の 16 進文字を使用します。データ暗号化のキーはこの PSK から生成されます。WPA2-PSK は IEEE 802.11i に準拠したこの認証モードの新しいバージョンです。
WZC	Wireless Zero Configuration Service の略。ワイヤレス ネットワーク接続のための Windows サービス。
イ	
インターネット プロトコル (IP) アドレス	ネットワークに属するコンピュータのアドレス。このアドレスの一部はコンピュータが属するネットワークを示し、それ以外の部分はホスト ID を示します。
インフラストラクチャ ネットワーク	少なくとも 1 つの ワイヤレス ルーター/AP と 1 つのワイヤレス クライアントで構成されるネットワーク。ワイヤレス クライアントは、従来型の有線ネットワークのリソースにアクセスするためにワイヤレス ルーター/AP を使用します。この有線ネットワークは、ワイヤレス ルーター/AP の配置によって組織のイントラネットまたはインターネットのいずれかになります。
シ	
シングル サイン オン	ドメイン アカウントを持つユーザーが、パスワードまたはスマート カードを使用していったんネットワークにログオンすると、ドメイン内のすべてのコンピュータにアクセスできるように

なるプロセス。

ス

スキャンニング

Dell ワイヤレス WLAN カードが ISM 周波数帯のあらゆるチャンネルでプローブ要求フレームを送信し、[ワイヤレス ルーター/AP](#) と他の[ワイヤレス クライアント](#)から送信されるプローブ 応答フレームをリッスンする、アクティブなプロセス。

スマート カード

スマート カードは、集積回路 (IC) が内蔵された、クレジットカード状の形体の小型ポータブル デバイスです。小型で IC が内蔵されていることにより、セキュリティ、データ ストレージ、および特殊なアプリケーションの用途に有用なツールとなります。スマート カードを使用すると、ユーザーが所持しているもの (スマート カード) とそのユーザーだけが知っていること (PIN) を組み合わせるため、パスワードだけを使用する場合と比べてユーザー セキュリティを 2 倍に向上させることができます。

ネ

ネットワーク キー

暗号化に WEP、TKIP、または AES を使用するワイヤレス ネットワーク接続プロファイル作成時にユーザーが入力する必要のある文字列。小規模オフィス/ホーム オフィスのユーザーは、[ワイヤレス ルーター/AP](#) インストーラから、エンタープライズ ユーザーは、ネットワーク管理者からこの文字列を入手できます。

パ

パケット分割しきい値

Dell ワイヤレス WLAN カードがパケットを複数のフレームに分割するために使用するしきい値。この値によって、パケット サイズが決定され、転送のスループットに影響を及ぼします。

フ

ファイルとプリンタの共有

多数のユーザーが異なるコンピュータから同じファイル (複数可) を表示、変更、および印刷できるようにする機能。

ブ

ブロードキャスト中のネットワーク

ネットワーク名をブロードキャスト送信しているネットワーク。

プ

プロビジョニング

セキュリティの関連付けを確立するために必要となるトラスト アンカー、共有秘密、およびその他の情報をピアに提供すること。

ホ

ホスト コンピュータ

モデムまたはネットワーク アダプタを介してインターネットに直接接続されているコンピュータ。

ル

ルート証明書

Internet Explorer では、認証機関 (CA) はルート認証機関と中間認証機関の 2 つのカテゴリ

に分類されます。ルート証明書は自己署名入りの証明書で、証明書の対象者は証明書の署名者でもあります。ルート認証機関は、中間認証機関の証明書を割り当てることができます。中間認証機関は、サーバー証明書、個人証明書、発行元証明書、または他の中間認証期間の証明書を発行することができます。

レ

レジデンシャル ゲートウェイ

スタンドアロンのワイヤレス ハブ。このハブによって、ワイヤレス ネットワーク アダプタを搭載したすべてのコンピュータの他のコンピュータとの通信やインターネットへの接続が可能になります。レジデンシャル ゲートウェイはアクセス ポイント (AP) と呼ばれます。

ロ

ローミング

[ワイヤレス クライアント](#)が、ワイヤレス ネットワークへの接続を保持しながら、別の通信事業者の設備間を移動できるようにする Dell ワイヤレス WLAN カードの機能。

ワ

ワイヤレス クライアント

Dell ワイヤレス WLAN カードなどのワイヤレス LAN ネットワーク アダプタを備えたパーソナル コンピュータ。

ワイヤレス ルーター/AP

スタンドアロンのワイヤレス ハブ。このハブによって、ワイヤレス ネットワーク アダプタを搭載したすべてのコンピュータの他のコンピュータとの通信やインターネット接続が可能になります。ワイヤレス ルーター/AP には、既存の有線ネットワークと接続されるインターフェイスが少なくとも 1 つ存在します。「[アクセス ポイント](#)」も参照してください。

中

中間証明書

中間認証機関 (CA) によって発行される証明書。「[ルート証明書](#)」も参照してください。

優

優先するネットワーク

Windows WZC を使用して作成されたネットワーク接続プロファイル。このプロファイルは、Windows の【ワイヤレス ネットワーク接続】プロパティの【ワイヤレス ネットワーク】タブにある【優先するネットワーク】に一覧表示されます。

利

利用可能なネットワーク

範囲内にあるブロードキャスト中のネットワーク。

Windows の【ワイヤレス ネットワーク接続】プロパティにある【ワイヤレス ネットワーク】タブの【利用できるネットワーク】に一覧表示されるネットワーク。この一覧には、ワイヤレス クライアントの受信範囲内にあるブロードキャスト中のすべてのワイヤレス ネットワーク (インフラストラクチャとアドホックの両方) が表示されます。すでに接続済みのワイヤレス ネットワークがある場合は、そのネットワークがブロードキャスト中でない場合にも利用可能なネットワークとしてこの一覧表示に含まれています。

標

標準ネットワーク

次のセキュリティ設定のいずれかを持つ[インフラストラクチャ ネットワーク](#)。

- [WPA-PSK 認証](#)
- WEP (オープンまたは共有認証)

なし

WEP セキュリティが設定されている、または、セキュリティがまったく設定されていない [アドホック](#) ネットワーク。

無

無線ストリーム

IEEE 802.11n ネットワーク接続用の空間ストリーム (X) とアンテナ (Y) の設定を表す値。たとえば、無線ストリーム値 3 × 3 は、3 つのアンテナを使用する 3 つの空間ストリームを意味します。

省

省電力モード

節電のために無線通信の出力を定期的に低下させた状態のこと。無線通信が省電力モードの場合、受信パケットは、無線通信が再びオンになるまで AP に保存されます。

証

証明書

一般的に認証用に使用され、インターネット、エクストラネット、イントラネットなどのオープン ネットワーク上での情報交換のセキュリティを保証するためのデジタル ドキュメント。証明書を使用すると、該当する秘密キーを持つエンティティに公開キーを安全にバインドできます。証明書は、発行元の認証機関によってデジタル署名され、ユーザー、コンピュータ、またはサービスに対して発行されます。最も広く受け入れられている証明書の形式は、[ITU-T X.509 バージョン 3 国際規格](#)によって定義されています。「[中間証明書](#)」および「[ルート証明書](#)」も参照してください。

証明書ストア

要求された証明書が保存されているコンピュータ上のストレージ領域。

ユーザー ストアは、証明書ストア内の Personal フォルダです。

ルート ストアは、証明書ストア内の Trusted Root Certification Authorities フォルダです。

マシン ストアは、認証機関の認証サーバー上にあります。

認

認証

事前に承認済みの [ワイヤレスクライアント](#) を衝突ドメインに参加できるようにするためのプロセス。認証は、関連付けの前に発生します。

認証済みプロビジョニング

[EAP-FAST](#) Extensible Authentication Protocol によってサポートされている [プロビジョニング](#) モード。このモードでは、サーバー認証済みの (TLS) トンネル内でプロビジョニングが行われます。

関

関連付け

[ワイヤレスクライアント](#) が、選択されている [ワイヤレス ルーター/AP](#) の論理ポートを使用できるように交渉するプロセス。

関連付けあり

[ワイヤレスクライアント](#) アダプタが、選択した [ワイヤレス ルーター/AP](#) に接続している状態。

非

非公開ネットワーク

ネットワーク名をブロードキャスト送信していないネットワーク。非公開ネットワークに接続するには、ネットワーク名 (SSID) を入手して検出する必要があります。

高

高度なネットワーク

なんらかの形式の [EAP 認証](#) を使用するインフラストラクチャ ネットワーク。

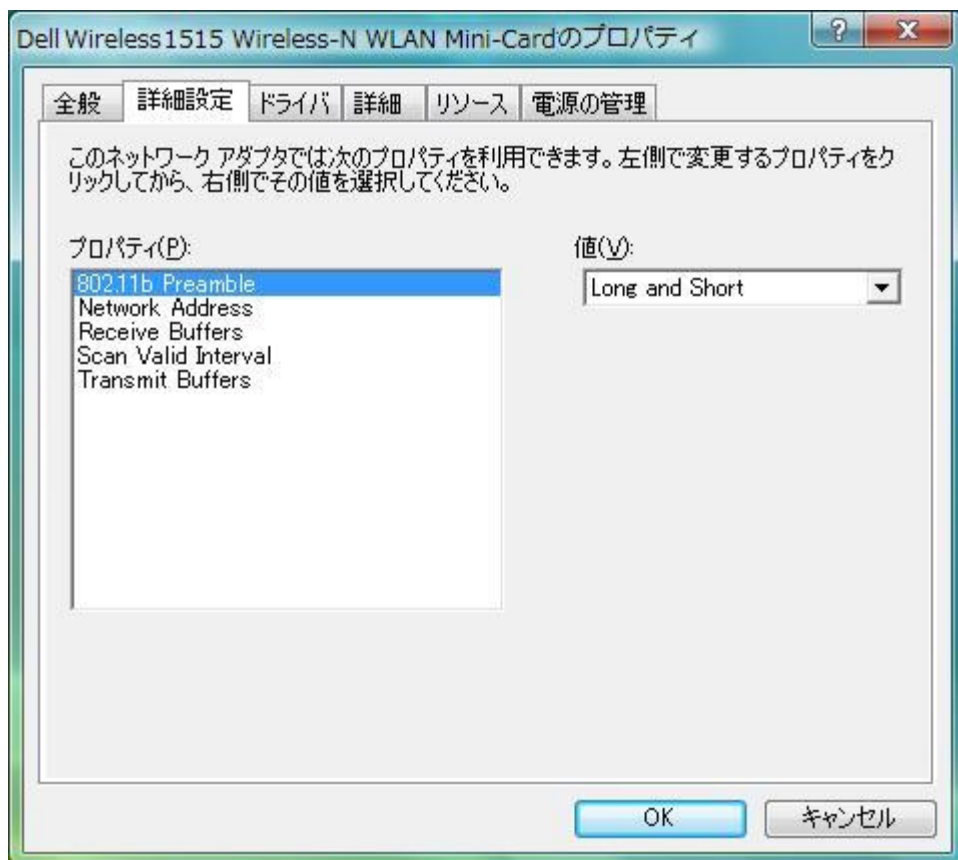
[コンテンツ ページに戻る](#)

詳細プロパティの設定: Dell™ ワイヤレス WLAN カード ユーザーズ ガイドY ガイド

- [802.11b プリアンブル](#)
- [ネットワーク アドレス](#)
- [受信バッファ](#)
- [送信バッファ](#)
- [Scan Valid Interval \(スキャンの有効間隔\)](#)
- [マップレジスタ](#)
- [MFP](#)
- [省電力モード](#)
- [Power Save Policy \(Background\) \(省電力ポリシー \(バックグラウンド\)\)](#)
- [Power Save Policy \(Best Effort\) \(省電力ポリシー \(ベスト エフォート\)\)](#)
- [Power Save Policy \(Video\) \(省電力ポリシー \(ビデオ\)\)](#)
- [Power Save Policy \(Voice\) \(省電力ポリシー \(ボイス\)\)](#)
- [Radio On/Off \(無線オン/オフ\)](#)

WLAN カードの詳細プロパティを設定するには、[ワイヤレスのプロパティ] ダイアログ ボックスの [詳細設定] タブを開きます。


Windows Vista® の詳細設定





プロパティの値を表示するには、【プロパティ】一覧でプロパティ名をクリックします。プロパティ値が【値】ボックスに表示されます。値を変更するには、【値】一覧内のオプションをクリックするか、新しい値を入力します（選択オプションはプロパティにより異なります）。

次に、利用可能なプロパティとその設定値について説明します。

 注: Dell ワイヤレス WLAN カードのモデルによっては利用できないプロパティがあります。

802.11b プリアンブル

802.11b のプリアンブル設定を指定します。デフォルト設定は、[Short & Long (ショート & ロング)] (アクセス ポイント モード) です。この場合、802.11b フレームでショート ヘッダとロング ヘッダの両方を利用できます。アクセス ポイントでショート無線ヘッダがサポートされており、このヘッダが使用されている場合、ワイヤレス アダプタは、このヘッダのみを使用できます。ショート フレームに対する許可をオーバーライドするには、[ロングのみ] に設定します。

ロング & ショート (デフォルト)

ロングのみ

ネットワーク アドレス

ソフトウェア設定のインターフェイス MAC アドレス。Dell ワイヤレス WLAN カードのアダプタ EEPROM には一意の MAC アドレスがプログラムされています。この MAC アドレスは、EEPROM のパーマネント MAC アドレスよりも優先されます。

"" (デフォルト)

テキストは 12 文字に制限されます

受信バッファ

ドライバが使用する受信バッファの数。

256 (デフォルト)

1 (最小)

512 (最大)

送信バッファ

ドライバが使用する送信バッファの数。

512 (デフォルト)

1 (最小)

512 (最大)

Scan Valid Interval (スキャンの有効間隔)

スキャン結果は、[Scan Valid Interval (スキャンの有効間隔)] で指定した時間、有効性を維持します。スキャン結果がこの時間よりも古いと、新しいスキャンが開始されます。

60 秒 (デフォルト)

20 秒 (最小)

120 秒 (最大)

Map Registers (マップレジスタ)

ドライバが使用する NDIS MAP レジスタの数。

256 (デフォルト)

32 (最小)

512 (最大)

MFP

管理フレーム保護 (MFP) を有効にした場合、IEEE 802.11i で定義されたセキュリティメカニズムを使用して Class 3 管理フレームを保護できます (認証や関連付けなど)。

Disable (無効) (デフォルト)

Enable (有効)

省電力モード

「省電力モード」プロパティは、ワイヤレスクライアントコンピュータを IEEE 802.11 省電力モードに切り替える場合に使用します。[最大] モードの場合は、ワイヤレスアダプタに対する受信メッセージがアクセスポイントにバッファされます。アダプタは定期的にアクセスポイントにポーリングして、待機しているメッセージの有無を確認します。「標準」の場合は、多数のペケットを取得するときは「最大」を使用し、そのペケットの取得が終了したら省電力モードに切り替わります。[オフ] の場合は省電力がオフになるため、ワイヤレスアダプタには常時電力が供給されて、メッセージの応答時間は短くなります。

標準 (デフォルト)

最大

オフ

Power Save Policy (Background) (省電力ポリシー (バックグラウンド))

アクセス カテゴリについて、このプロパティの値に [Legacy Power Save (従来の省電力)] を設定すると、IEEE 802.11 仕様に従って、そのアクセス カテゴリの省電力動作が有効になります。この設定値はデフォルトです。アクセス カテゴリについて、このプロパティの値に [WMM Power Save (UAPSD) (WMM 省電力 (UAPSD))] を設定すると、WiFi Alliance WMM Power Save 仕様に従い、そのアクセス カテゴリの省電力動作が有効になります。また、この設定値は Unscheduled Automatic Power Save Delivery (UAPSD) としても知られます。

Legacy Power Save (従来の省電力) (デフォルト)

WMM Power Save (UAPSD) (WMM 省電力 (UAPSD))

Power Save Policy (Best Effort) (省電力ポリシー (ベスト エフォート))

アクセス カテゴリについて、このプロパティの値に [Legacy Power Save (従来の省電力)] を設定すると、IEEE 802.11 仕様に従って、そのアクセス カテゴリの省電力動作が有効になります。この設定値はデフォルトです。アクセス カテゴリについて、このプロパティの値に [WMM Power Save (UAPSD) (WMM 省電力 (UAPSD))] を設定すると、WiFi Alliance WMM Power Save 仕様に従い、そのアクセス カテゴリの省電力動作が有効になります。また、この設定値は Unscheduled Automatic Power Save Delivery (UAPSD) としても知られます。

Legacy Power Save (従来の省電力) (デフォルト)

WMM Power Save (UAPSD) (WMM 省電力 (UAPSD))

Power Save Policy (Video) (省電力ポリシー (ビデオ))

アクセス カテゴリについて、このプロパティの値に [Legacy Power Save (従来の省電力)] を設定すると、IEEE 802.11 仕様に従って、そのアクセス カテゴリの省電力動作が有効になります。この設定値はデフォルトです。アクセス カテゴリについて、このプロパティの値に [WMM Power Save (UAPSD) (WMM 省電力 (UAPSD))] を設定すると、WiFi Alliance WMM Power Save 仕様に従い、そのアクセス カテゴリの省電力動作が有効になります。また、この設定値は Unscheduled Automatic Power Save Delivery (UAPSD) としても知られます。

Legacy Power Save (従来の省電力) (デフォルト)

WMM Power Save (UAPSD) (WMM 省電力 (UAPSD))

Power Save Policy (Voice) (省電力ポリシー (ボイス))

アクセス カテゴリについて、このプロパティの値に [Legacy Power Save (従来の省電力)] を設定すると、IEEE 802.11 仕様に従って、そのアクセス カテゴリの省電力動作が有効になります。この設定値はデフォルトです。アクセス カテゴリについて、このプロパティの値に [WMM Power Save (UAPSD) (WMM 省電力 (UAPSD))] を設定すると、WiFi Alliance WMM Power Save 仕様に従い、そのアクセス カテゴリの省電力動作が有効になります。また、この設定値は Unscheduled Automatic Power Save Delivery (UAPSD) としても知られます。

Legacy Power Save (従来の省電力) (デフォルト)

WMM Power Save (UAPSD) (WMM 省電力 (UAPSD))

Radio On/Off (無線オン/オフ)

このプロパティの値を [無効化] に設定すると、無線はオフになります。民間航空機の離陸や着陸など、無線信号の放出が禁止されている場合、この機能が役立ちます。値を [オン] に変更すると、無線が再び有効になります。コンピュータによっては、他にも便利な無線の有効化/無効化方法があります。この機能があるかどうかについては、コンピュータに付属の操作マニュアルを参照してください。

オン (デフォルト)

オフ